National

保管用 屋内専用

FR5

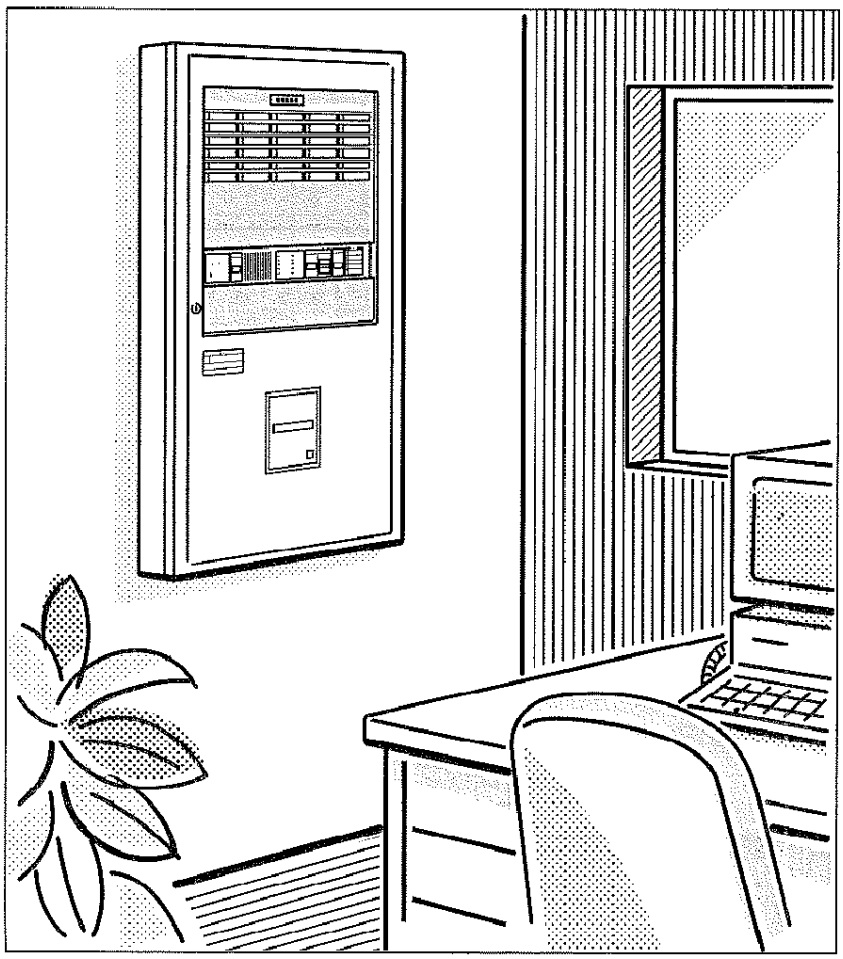
R型複合受信機

BVR210□□KH
BVR210□□2KH(部屋番号表示機能付)（□□は回線数）

取扱説明書

Ni-Cd
ニカド電池は
リサイクルへ

●お買い上げありがとうございます。
●正しくお使いいただくため、この説明書を大切に保管してください。



ご使用まえに

●この設備は、火災感知器などからの信号を受けて火災の発生を報知したり、防火戸などを自動的に作動させる働きをします。したがって、この設備は消火を行うものではありません。万一の火災などによる損害については、責任を負い兼ねますのでご了承ください。
●この設備は皆様の生命・財産を火災から守るための大切な設備です。取扱説明書をよく読み、各機器の正しい取り扱いを理解して、緊急時に備えてください。
●この設備は、常に正常な状態を維持するよう、有資格者による定期点検と日常の点検を行ってください。

（定期点検は、施主様と施工店または点検契約店でご契約ください。）

●必ず1～3ページをお読みください。
●取り扱いされる方は4～23ページをお読みください。
●点検・施工される方は24～50ページをお読みください。

取り扱いについてのご注意

●平常時には次のことを守ってください。受信機の取り扱いを誤ると火災時に正しく動作せず、避難や消火活動が大幅に遅れるおそれがあります。
  ●ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さない。
  ●受信機内の地区音響強制停止スイッチを「強制停止」側にしない。
  ●電源スイッチや電池を切らない。
  ●正常な監視状態にあるか確認する。（12ページ参照）
●警報が鳴ったら、まず現場を確認してください。

火災の場合	●119番などに通報する。 ●避難誘導および、可能であれば初期消火をする。
火災でない場合	●発生原因がわかれば取り除く。 ●発生原因不明のときは点検契約店に連絡し、再発防止を施す。

安全に正しくお使いいただくために

この設備を正しくお使いいただくためや、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書には、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

一般的な禁止

分解禁止

必ず行う

安全上のご注意

●ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

⚠警告

■取り扱い管理される方へ

禁止	●保守・点検以外で、ベル(地区音響)一時停止スイッチを押さないでください。 (スイッチ内のランプは点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。) 火災時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。 ●防火管理者および消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れないでください。感電・故障の原因になります。 ●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけないでください。 感電・故障の原因になります。 ●感知器は、絶対に取りはずさないでください。 出火時に火災発見ができません。 ●防火戸・防火シャッター・防煙たれ壁などの近くに、物を置かないでください。火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大するおそれがあります。
分解禁止	●機器を分解したり、修理・改造はしないでください。 故障の原因になります。

■点検・施工される方へ

禁止	●保守・点検以外で、受信機内の地区音響強制停止スイッチを「強制停止」側にしないでください。 (スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅します。) 火災時に警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。 ●ぬれた手で受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけないでください。 感電・故障の原因になります。 ●感知器は絶対に取りはずさないでください。 出火時に火災発見ができません。 ●防火戸・防火シャッター・防煙たれ壁などの近くに、物を置かないでください。火災時に所定の機能を発揮できず、被害が拡大するおそれがあります。 ●電池は火に投入したり、ショートさせないでください。 爆発したり、やけど・火災になるおそれがあります。
必ず行う	●電池は必ず接続してください。 電池が接続してないと停電時に機能しません。
分解禁止	●機器を分解したり、修理・改造はしないでください。 故障の原因になります。

定期点検について

防災設備は、設置後の保守点検・維持管理がともなって、はじめて正常な機能を発揮する商品です。
施工店または点検契約店と「点検契約」を結んでください。

点検は法律で義務づけられています……

消防関係法令では、防火対象物の責任者（建物の所有者、管理者または占有者）は、定期点検の実施およびその結果を報告するように定められています。点検の結果は維持台帳に記録し、定められた期間ごとに消防長または消防署長に報告しなければなりません。

■消防法施行規則第31条の4

- 点検は、消防用設備などの種類および点検内容により1年以内で、消防庁長官が定める期間ごとに行う。
- 点検を行った結果は、維持台帳に記録し、消防機関へ報告を行わなければならない。

■点　検

対象の設備	点検の内容および方法	点検の期間
自動火災報知設備	外観点検および機能点検	6ヶ月に1回
	総合点検	1年に1回
配線	総合点検	1年に1回

■報　告

特定防火対象物の場合	1年に1回
特定防火対象物以外の場合	3年に1回

点検には資格が必要です……

定期点検は、国が定めた資格者（消防設備点検資格者または消防設備士）が行うよう、法令で決められています。

■消防法第17条の3の3

- 消防用設備の点検は、消防設備士または総務大臣が認める資格者に行わせなければならない。

「ナショナル防災取扱店と点検契約」をおすすめします

ナショナル防災取扱店などと「点検契約」を結びますと、専門の知識・技術を持つ有資格者が定期的に訪問し、責任を持って防災設備の点検をいたします。
防災設備の正常な機能を維持するために、「点検契約」を結ばれることをおすすめします。

取り扱いされる方へ

もくじ

1. 各部のなまえとはたらき ―― 5～8

●【本体】……5～6

●【操作表示部】・付属品 …… 7～8

2. お手入れ方法 ―― 9

3. ご注意 ―― 11

4. 平常時の受信機の状態 ―― 12

5. 火災時のベル(地区音響)一時停止動作
・拡大警報動作について ―― 13～14

6. 受信機が警報した場合 ―― 15～17

●火災のとき……15

●火災でないとき……15～16

●付属設備の作動について……17

●諸警報時の対処方法……17

7. 電話機の使い方 ―― 18

8. 防火戸用ロックのリセット方法 ―― 19

9. 日常点検 ―― 20

10. 異常時の点検・処置 ―― 21～23

1.各部のなまえとはたらき

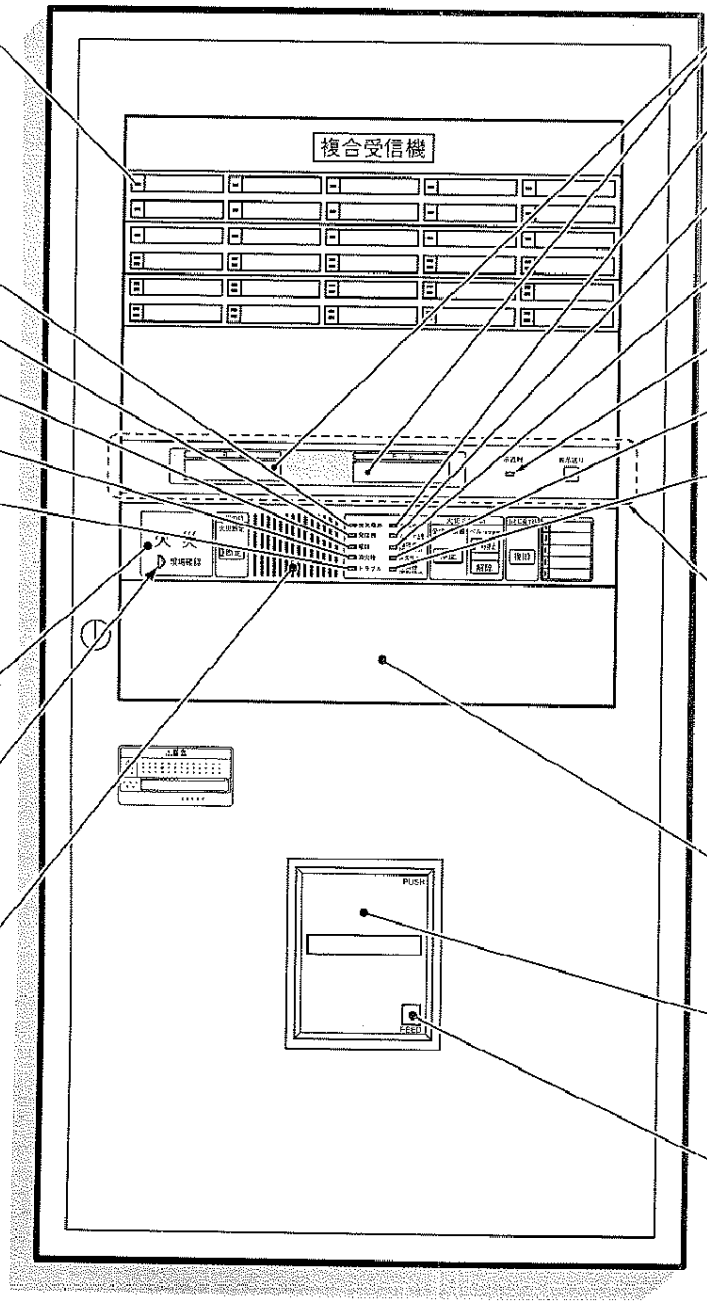
⚠警告

禁止

●防火管理者および消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れないでください。
感電・故障の原因になります。

●保守・点検以外で、ベル（地区音響）一時停止スイッチを押さないでください。
（スイッチ内のランプは点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。）
火災時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

【本体】 ●図はBVR210302KHの場合



1. 地区灯
2. 交流電源灯
3. 発信機灯
4. 電話灯
5. 消火栓灯
6. トラブル灯
7. 火災灯
8. 現場確認灯
9. 音声警報
10. 部屋番号表示部
11. 警戒中灯
12. スイッチ注意灯
13. 地区音響強制停止灯
14. 部屋番号表示過剰灯
15. 非常放送中灯
16. 防排煙連動停止灯
17. 点検用スイッチカバー
18. プリンター
19. プリンター紙送りスイッチ

注
●この部屋番号表示部は
BVR210□□2KH(□□は回線数)
のみ機能があります。
BVR210□□KH(□□は回線数)
にはありません。

❶ 地区灯（赤）

●上部灯の「点灯」で火災発生を、「点滅」で感知器配線の断線を知らせます。
●下部灯の「点灯」で防火戸などの作動を、「点滅」で防火戸などの未作動を知らせます。

❷ 交流電源灯（緑）

交流電源が入っていることを、点灯で知らせます。

❸ 発信機灯（赤）

発信機の押ボタンが押されると点灯します。
（15ページ参照）

❹ 電話灯（赤）

電話の呼び出し（プルプル音）があると点灯します。（18ページ参照）

❺ 消火栓灯（赤）

消火栓が作動すると点滅します。（17ページ参照）

❻ トラブル灯（赤）

受信機または配線に異常が起きたとき、点滅して知らせます。
点滅時は、施工店または点検契約店へ連絡してください。
●異常内容は、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部またはプリンター印字で確認できます。

❼ 火災灯（赤）

火災信号が入れば点灯します。

❽ 現場確認灯（赤）

火災信号が入れば点滅します。

❾ 音声警報　下記の表のように鳴動します。

受信機の状態	警報音	音　声
火災警報（第1報）	ピーピー	火災感知器が作動しました。現場を確認してください。（女性の声）
火災警報（第2報または発信機発報または火災断定スイッチを押したとき）	ピーピー	火事です。火事です。現場を確認してください。（男性の声）
電話呼出	プルプル プルプル	―――
諸設備の異常 防火戸などの作動	プープー	―――
トラブル時	ビー	トラブルが発生しました。（女性の声）
予備電源動作時	ビー（10秒間隔で鳴動します。）	―――

❿ 部屋番号表示部（赤）

火災発生している部屋番号を7セグメント表示（4桁）で知らせます。
（BVR210□□2KH（□□は回線数）のみ機能があります。）

⓫ 警戒中灯（緑）

電源投入後、30秒～60秒後（イニシャル完了後）に点灯します。
点検時音響停止スイッチまたは試験復旧スイッチが押されていると点灯しません。

⓬ スイッチ注意灯（赤）

いずれかのスイッチが通常の状態でないとき、点滅して知らせます。

⓭ 地区音響強制停止灯（赤）

受信機内の地区音響強制停止スイッチが「強制停止」側になっていると点滅して知らせます。
点滅時は、施工店または点検契約店へ連絡してください。（約1分間隔でピッ音が鳴ります。）

⓮ 部屋番号表示過剰灯（赤）

火災発生している部屋番号が3ヵ所以上あるとき点灯します。
（BVR210□□2KH（□□は回線数）のみ機能があります。）

⓯ 非常放送中灯

非常放送のマイクスイッチを作動させると、点滅して知らせます。

⓰ 防排煙連動停止灯（赤）

防火戸などが連動しない状態にあることを、点滅して知らせます。

⓱ 点検用スイッチカバー

カバー内のスイッチは点検・試験用です。
通常は操作する必要はありません。

⓲ プリンター

火災発生・諸設備の異常・防火戸などの作動・受信機または配線に異常が発生したときにプリンター印字で内容を知らせます。

⓳ プリンター紙送りスイッチ（緑色ランプ付）

押すとプリンター用紙が紙送りされます。
また、プリンター用紙がなくなるとスイッチ内のランプが点滅します。

●電話機音響は、電話機プラグを電話ジャックに差し込めば止まります。
●受信機内部で、警報音のみ鳴動の設定ができます。（施工店にご相談ください。）
●受信機内部で、防火戸などの作動音響を鳴動させない設定ができます。（施工店にご相談ください。）

1.各部のなまえとはたらき

⚠警告

禁止

●防火管理者および消防設備士などの資格者以外は受信機内部に手を触れないでください。
感電・故障の原因になります。

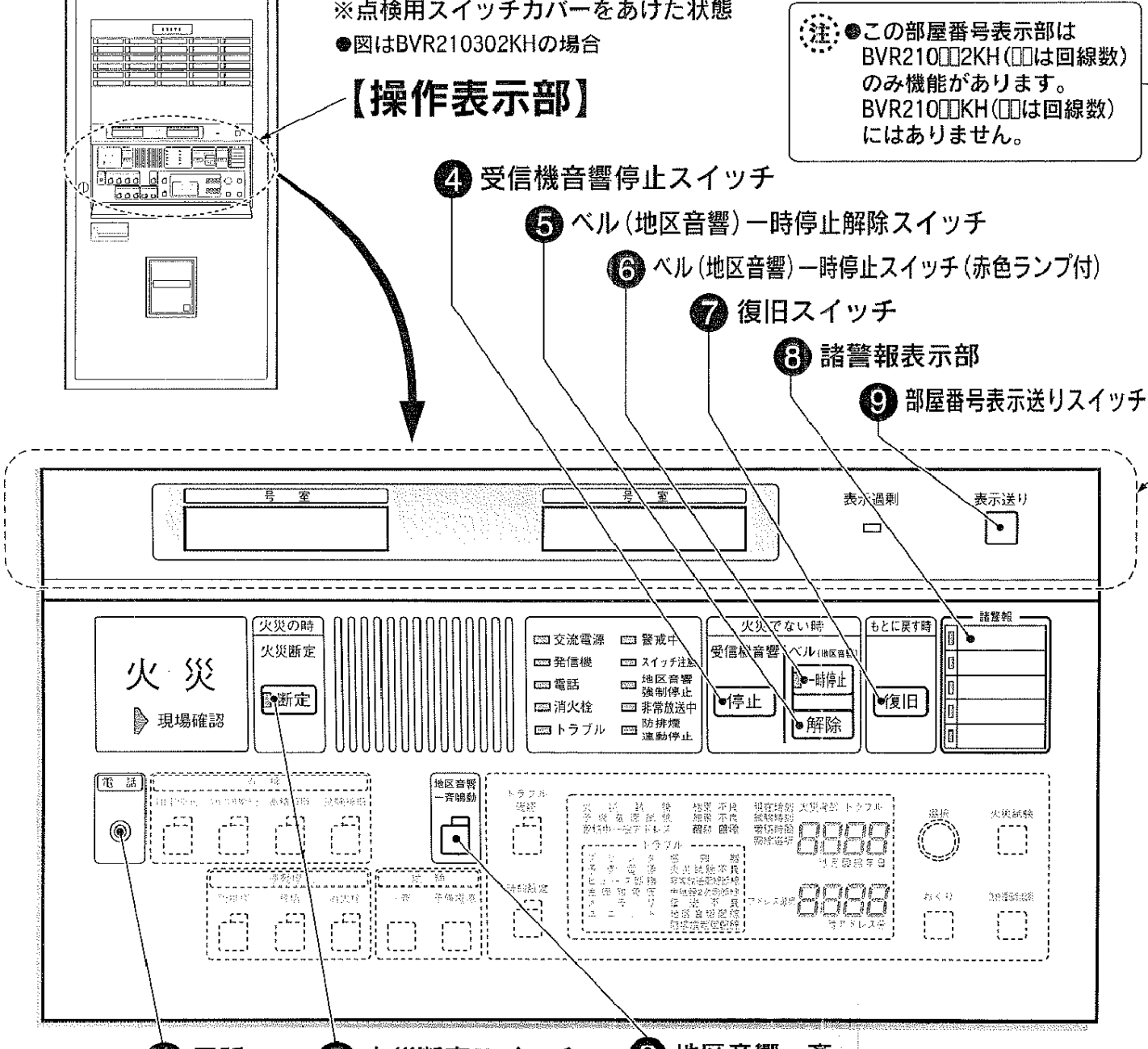
●保守・点検以外で、ベル(地区音響)一時停止スイッチを押さないでください。
(スイッチ内のランプは点灯し、スイッチ注意灯が点滅します。)
火災時、すぐに警報音が出ないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

●点検用スイッチカバー内にある電話ジャック・地区音響一斉鳴動スイッチ以外のスイッチなどは操作しないでください。
(点検資格者・消防設備士が操作するところです。)

※点検用スイッチカバーをあけた状態
●図はBVR210302KHの場合

【操作表示部】

注 ●この部屋番号表示部は
BVR210□□2KH(□□は回線数)
のみ機能があります。
BVR210□□KH(□□は回線数)
にはありません。



❶ 電話ジャック

電話機のプラグを差し込み、副受信機または発信機との通話に使用します。(18ページ参照)

❷ 火災断定スイッチ(赤色ランプ付)

火災発生中に押すと防排煙連動停止・移信連動停止・消火栓連動停止・地区音響一時停止の機能を解除し、火災断定スイッチ内のランプが点灯し、プリンター印字します。

- 主音響は再び鳴動します。
- 火災発生中でないときは、火災断定スイッチを押しても何も動作しません。

❸ 地区音響一斉鳴動スイッチ(赤色ランプ付)

押すと地区音響装置が鳴動あるいは非常放送設備が火災放送を行い、スイッチ内のランプが点灯します。

❹ 受信機音響停止スイッチ

押すと主音響または諸警報音響・トラブル音響が止まります。

- 主音響(または諸警報音響・トラブル音響)は一度止めても、新たな火災信号(または諸警報信号・トラブル信号)が入れば、再び鳴動します。

❺ ベル(地区音響)一時停止解除スイッチ

押すとベル(地区音響)一時停止スイッチにより停止された地区音響は再度鳴動し、ベル(地区音響)一時停止スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が消灯し、プリンター印字します。

❻ ベル(地区音響)一時停止スイッチ(赤色ランプ付)

- **火災入力があるとき**
  押すと地区音響が止まり、スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅し、プリンター印字します。
- **火災入力がないとき**
  押すとスイッチ内のランプが点灯し、スイッチ注意灯が点滅し、プリンター印字します。火災信号が入るとスイッチ内のランプは点滅に変わります。

❼ 復旧スイッチ

押すと火災灯・地区灯・現場確認灯が消灯し、主音響・地区音響が止まり、プリンター印字します。通常の監視状態に戻ります。

❽ 諸警報表示部(赤)

諸設備に異常が起きたとき、点灯で知らせます。

❾ 部屋番号表示送りスイッチ

部屋番号表示過剰灯が点灯しているときに、押すと部屋番号表示部2窓めが切り替わり、3ヵ所め以降の部屋番号を部屋番号表示部に表示します。

〔BVR210□□2KH(□□は回線数)のみ機能があります。〕

■BVR210□□KHの場合(□□は回線数)

付　属　品

取扱説明書(本紙)	1冊
予備品 保管用 (ヒューズなど)	1セット
電話機	2台
施工説明書	1冊
設定マニュアル	1冊
設定シート	8枚
設定表	5枚
掲示板	1枚

(自動火災報知設備の取り扱いについて)

■BVR210□□2KHの場合(□□は回線数)

付　属　品

取扱説明書(本紙)	1冊
予備品 保管用 (ヒューズなど)	1セット
電話機	2台
施工説明書	1冊
設定マニュアル	1冊
設定シート	9枚
設定表	6枚
掲示板	1枚

(自動火災報知設備の取り扱いについて)

2.お手入れ方法

⚠注 意

●清掃時、受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認してください。
正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。
（「4. 平常時の受信機の状態」（12ページ）を確認してください。）

■表面が汚れた場合は、次の方法でお手入れください。

●ふだんのおそうじは…

やわらかい布でふき取ってください。

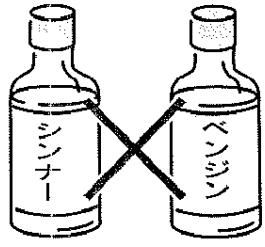
●汚れが目立つときは

中性洗剤を薄めた液にやわらかい布を浸し、
固く絞ってふき取ってください。

（化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書にしたがってください。）

注

●ベンジンなどは引火性があるため危険ですので、使用しないでください。



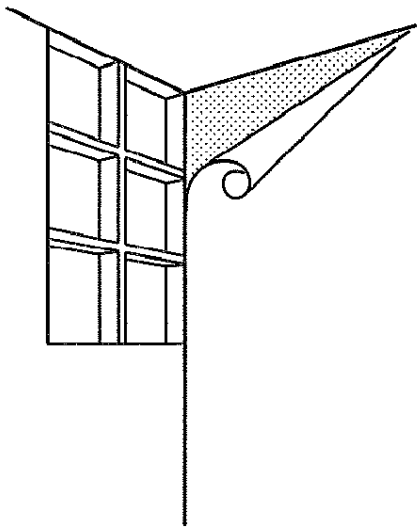
MEMO

3.ご注意

■こんなときは、消防法に適合しなくなったり、この設備が正常に機能しなくなるおそれがありますので、定期点検の時期まで待たずに、点検契約店にご連絡ください。

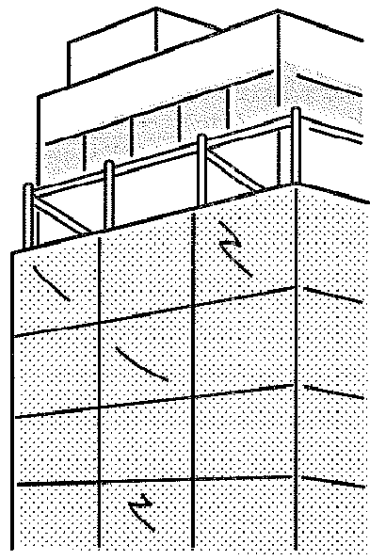
増改築

●増築や改装をしたとき



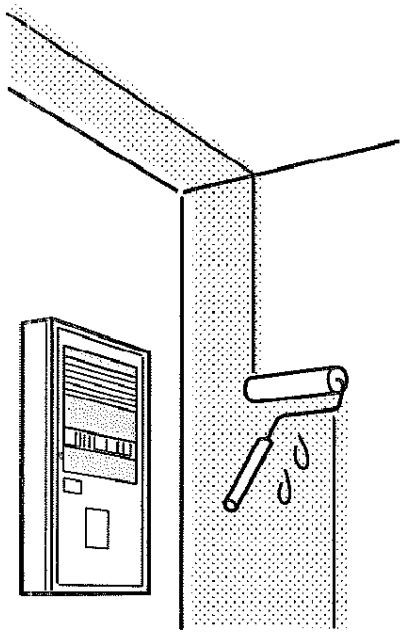
修繕

●建物を修繕したとき



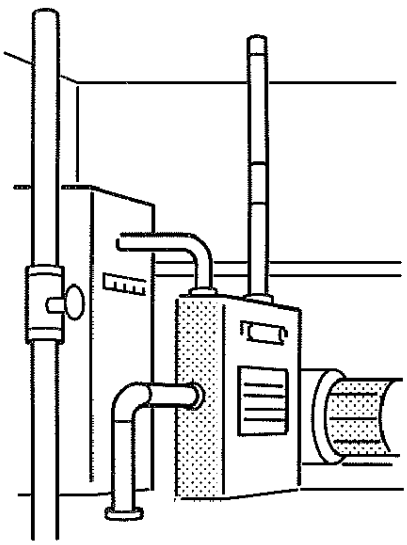
塗りかえ

●天井や壁を塗りかえたとき



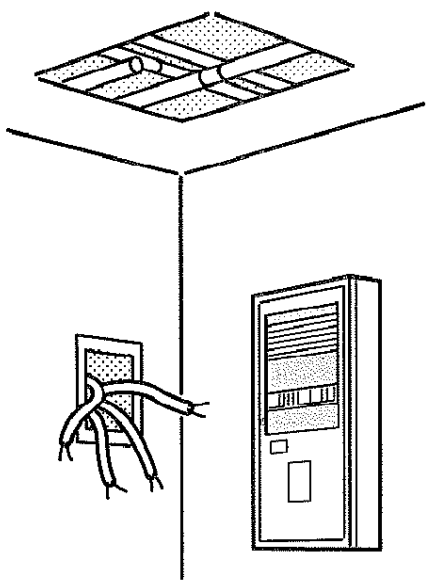
設備工事

●設備の工事をしたとき



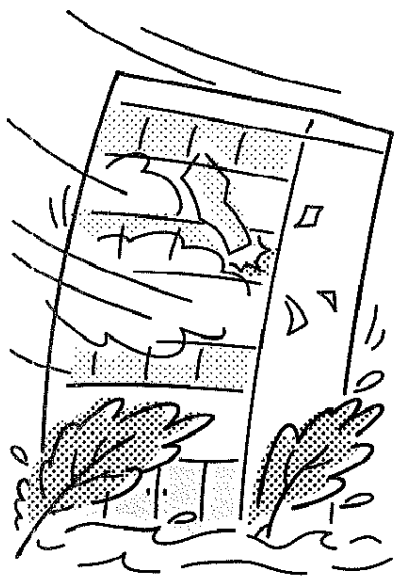
電気・ガス・水道工事

●電気・ガス・水道工事をしたとき



天災被害

●台風・雷・地震などの被害をうけたとき



4.平常時の受信機の状態

⚠注意

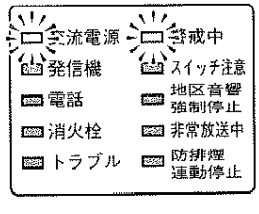
●受信機のスイッチなどが正常な監視状態にあるか確認してください。
正常な監視状態でないと火災時に正しく動作しません。
●点検用スイッチカバーは必ず閉じてください。
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

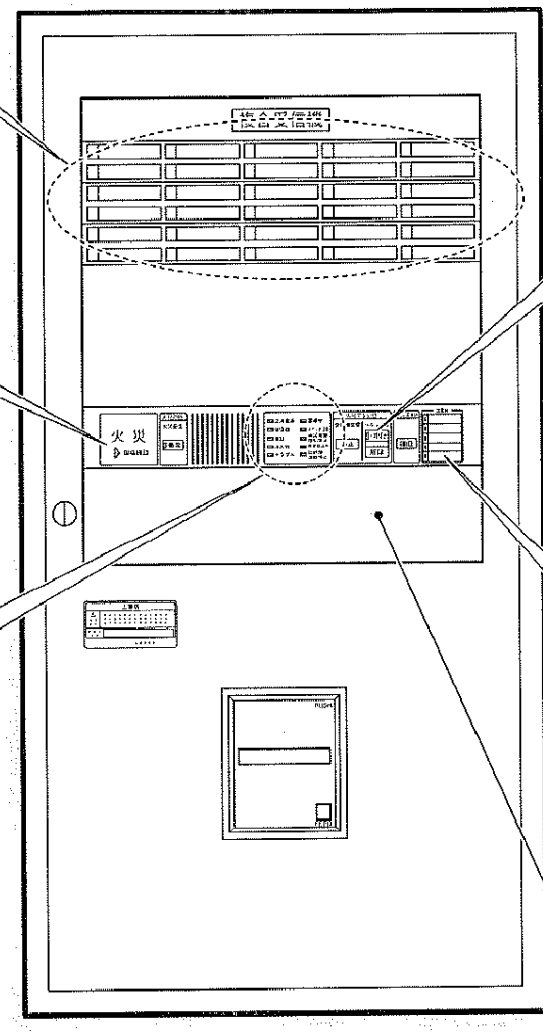
●火災が発生したとき、受信機が正常に動作するよう、平常時は下図の状態であることをお確かめください。
平常時において下図のような状態とならない場合は、「10. 異常時の点検・処置」(21～23ページ)の内容を確認のうえ点検契約店にご連絡ください。

●地区灯はすべて消灯

●火災灯は消灯

●交流電源灯は常に点灯
●発信機灯は消灯
●電話灯は消灯
●消火栓灯は消灯
●トラブル灯は消灯
●警戒中灯は常に点灯
●スイッチ注意灯は消灯
●地区音響強制停止灯は消灯
●非常放送中灯は消灯
●防排煙連動停止灯は消灯





●ベル(地区音響)
一時停止スイッチ
内のランプは消灯

●諸警報表示部は
すべて消灯

■図はBVR21030KHの場合

5.火災時のベル(地区音響)一時停止動作・拡大警報動作について

■ベル(地区音響)一時停止動作について

●感知器が作動し、地区音響が鳴動しているときにベル(地区音響)一時停止スイッチを押すと地区音響が一時的に停止します。その後、受信機内で設定された時間(自動解除時間(TA))経過後に再度、地区音響が鳴動する動作です。一時停止中に発信機の発報が入った場合、または第2報めの火災発報が入った場合は、自動解除時間(TA)中であっても自動的に解除します。

■拡大警報動作について

●第1報めの火災発報を受信してから、受信機内で設定された時間(一斉鳴動移行時間(TC))経過後に全回線一斉鳴動へと移行する動作です。発信機の発報が入った場合、または第2報めの火災発報が入った場合は、一斉鳴動移行時間(TC)中であっても全回線一斉鳴動します。

■自動解除時間(TA)の設定が2分、一斉鳴動移行時間(TC)の設定が6分の場合

●自動解除時間(TA)・一斉鳴動移行時間(TC)の設定については、施工説明書(3ページ)を参照してください。

1 感知器が作動する。

●主音響・地区音響が鳴動し、火災灯・地区灯は点灯します。

2 受信機音響停止スイッチを押す。

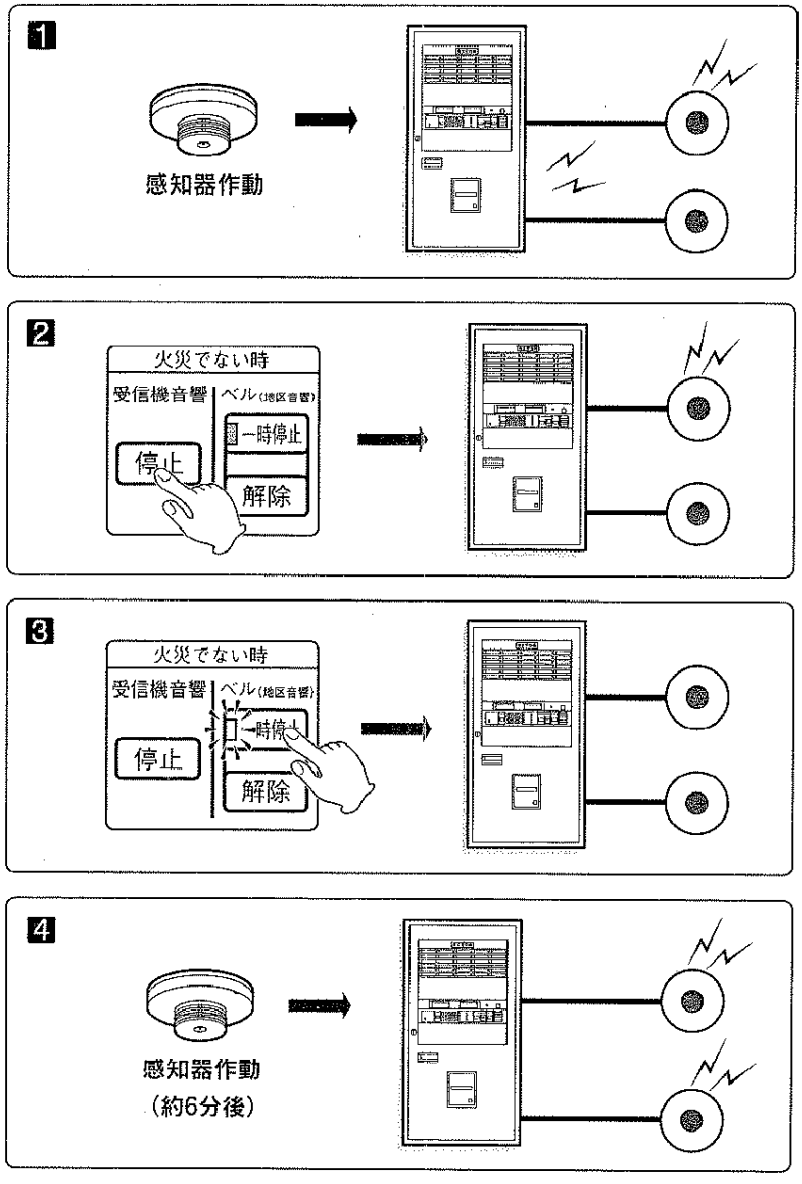
●主音響は停止し、火災灯・地区灯は点灯しています。
●地区音響は鳴動しています。

3 ベル(地区音響)一時停止スイッチを押す。

●地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。
再度、押すと地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。

4 感知器が作動してから約6分後に地区音響が一斉鳴動します。

※ベル(地区音響)一時停止中に約6分経過した場合、ベル(地区音響)一時停止解除後に地区音響が一斉鳴動します。
※感知器が復旧している場合、復旧スイッチを押すとベル(地区音響)一時停止状態は解除され通常の監視状態に戻ります。
※発信機の押ボタンが押されると地区音響が全回線一斉鳴動します。



■自動解除時間(TA)の設定が2分、一斉鳴動移行時間(TC)の設定がOFFの場合

●自動解除時間(TA)・一斉鳴動移行時間(TC)の設定については、施工説明書(3ページ)を参照してください。

1 感知器が作動する。

●主音響・地区音響が鳴動し、火災灯・地区灯は点灯します。

2 受信機音響停止スイッチを押す。

●主音響は停止し、火災灯・地区灯は点灯しています。

●地区音響は鳴動しています。

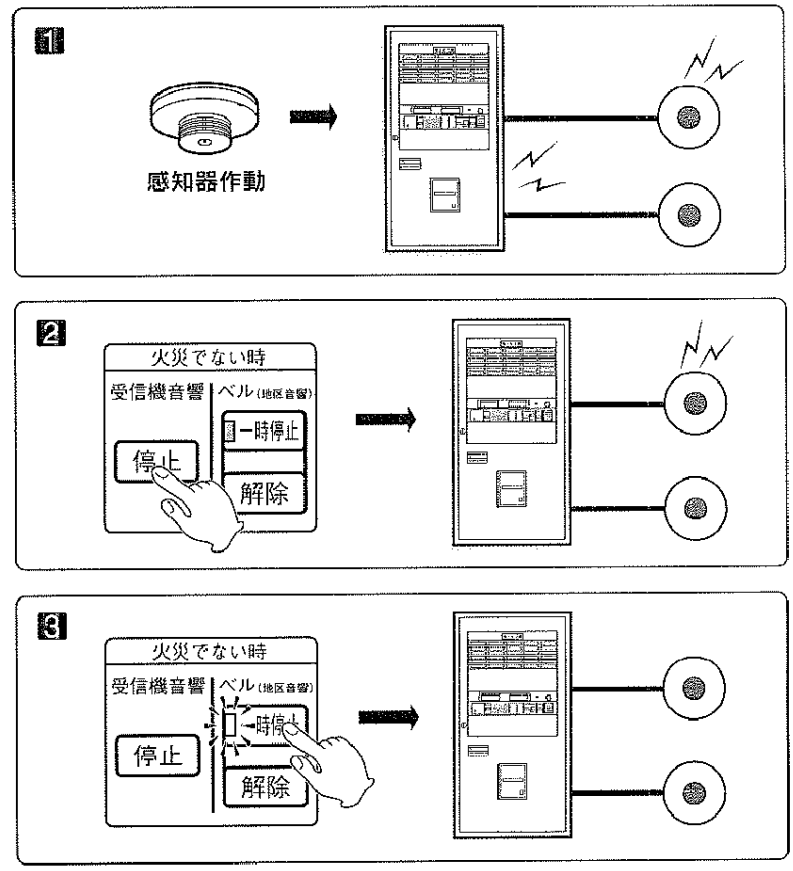
3 ベル(地区音響)一時停止スイッチを押す。

●地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。
再度、押すと地区音響が停止し、約2分後に再び鳴動します。

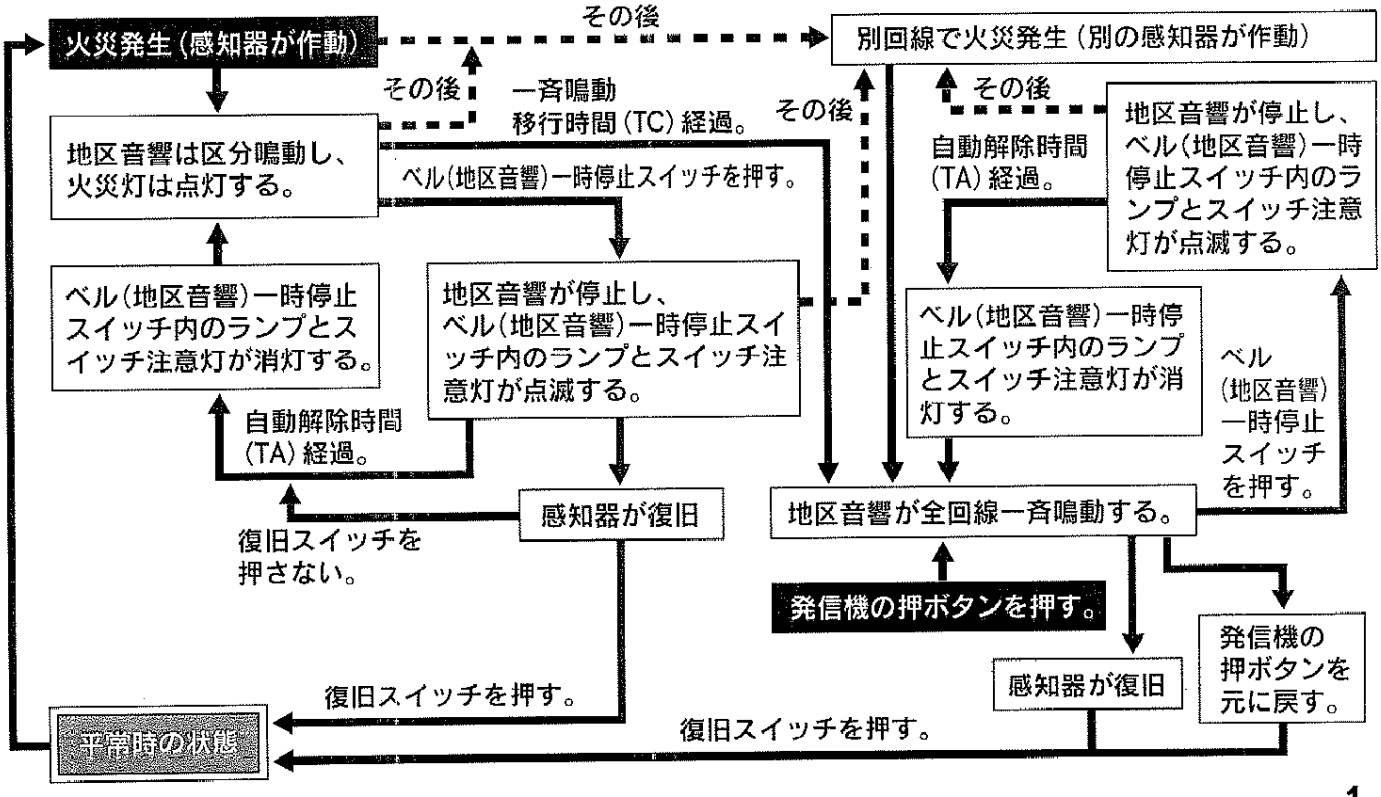
※地区音響一斉鳴動状態へは、移行しません。

※感知器が復旧している場合、復旧スイッチを押すとベル(地区音響)一時停止状態は解除され通常の監視状態に戻ります。

※一斉鳴動移行時間(TC)の設定が「OFF」の場合は、発信機の押ボタンを押しても地区音響が一斉鳴動にはなりません。この場合は、区分鳴動動作をします。



■地区音響の鳴動／停止の動作について

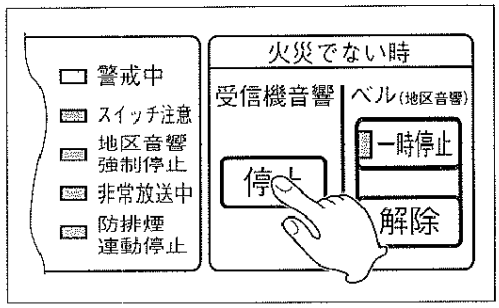


6.受信機が警報した場合

■主音響が鳴ったら、次の手順で操作してください。

1 受信機音響停止スイッチを押し、主音響を止める。

●地区音響は鳴動しています。

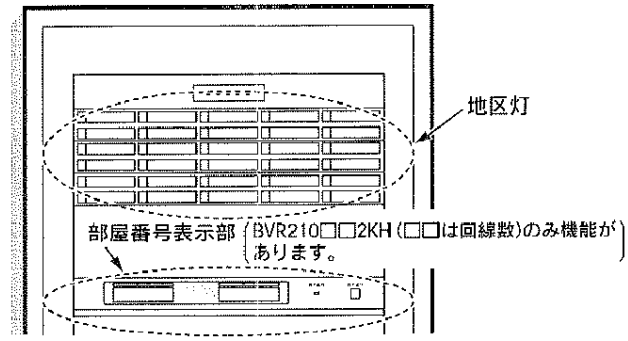


●発信機の押ボタンが押されて発報している場合は、発信機灯が点灯します。
●発信機灯が消灯している場合は、感知器が作動したことによる発報です。

2 地区灯(赤)の点灯位置によってどこで火災が起きているか確かめます。

火災信号の入ったとき、地区灯の点灯と同時に液晶表示部でも発報回線と発報アドレスをデジタル表示します。2報め、3報めが入ってきても、デジタル表示では第1報めの回線およびアドレス表示を保持し現場確認の優先順位を示します。2報め、3報めの発報回線および発報アドレスは、おくりスイッチにより確認できます。

※BVR210□□2KH(□□は回線数)の場合、部屋番号表示部の表示により、どの部屋で火災が起きているか確認できます。



出火場所へ行き状況を確認する

火災のとき

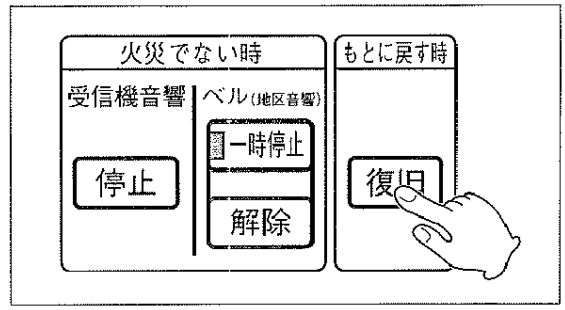
火災のとき

3 火災の場合は……

●119番に通報した後、避難誘導や初期消火など適切な処置をしてください。

※火災断定スイッチを押すと、防排煙連動停止・移信連動停止・消火栓連動停止・地区音響一時停止を解除することができます。

4 火災鎮火後、復旧スイッチを押して通常の状態に戻します。



●防火戸用ロックがある場合は、防火戸用ロックをリセットしてください。(19ページ参照)

火災でないとき

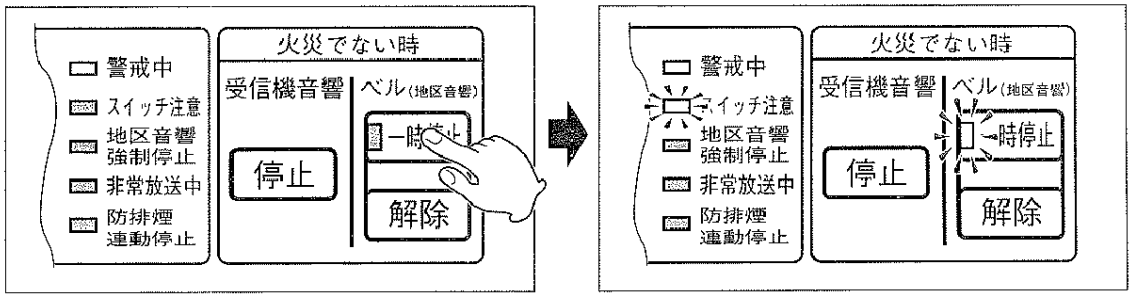
■感知器は火災でないときでも作動することがあります。

煙感知器 水蒸気・ホコリ・調理の煙などでも作動することがあります。

熱感知器 ストーブなど暖房の熱が直接当たったり、感熱部が変形すると作動することがあります。

3 ベル(地区音響)一時停止スイッチを押して、地区音響を止める。

●スイッチ内のランプとスイッチ注意灯が点滅します。



注 ●スイッチ内のランプとスイッチ注意灯は、自動解除時間(TA)(約2分間・約4分間・約6分間・約8分間)経過後に消灯し、地区音響が再び鳴動します。
(自動解除時間(TA)の設定については、施工説明書(3ページ)を参照してください。)

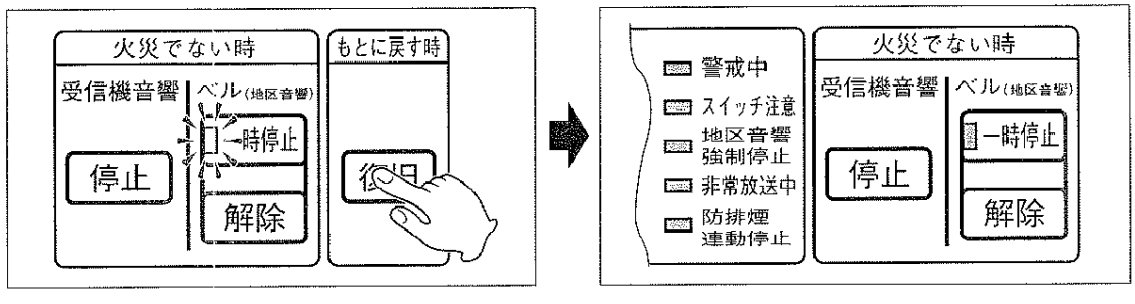
4 地区灯の点灯している警戒場所で、次の状況を確かめ処置する。

状況確認	処置
感知器が作動していないか？ 確認灯付感知器の場合、作動した感知器の確認灯が点灯します。	作動した感知器から煙または熱を取り去ってください。
発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？(発信機灯が点灯しています。)	発信機の押ボタンを元に戻してください。

5 復旧スイッチを押し、地区灯と火災灯が消えるか確かめます。

●感知器の確認灯も消えます。

※地区灯・現場確認灯・火災灯が消えない場合はもう一度 4 ・ 5 の手順を繰り返してください。



6 通常の監視状態に戻ります。

※地区灯・現場確認灯・火災灯が消えない場合や処置できない場合は、点検契約店へご連絡ください。

6.受信機が警報した場合

■付属設備の作動について

◎付属設備がある場合の火災警報時の作動は、次のようになります。
あらかじめ、どのような付属設備が設置されているか確認してください。

【副受信機】

●受信機の火災表示とともに副受信機の地区灯が点灯して、ブザーが鳴ります。

【消火栓】

●発信機の押ボタンまたは消火栓始動用押ボタンが押された場合は、消火栓灯が点滅します。

【非常放送設備】

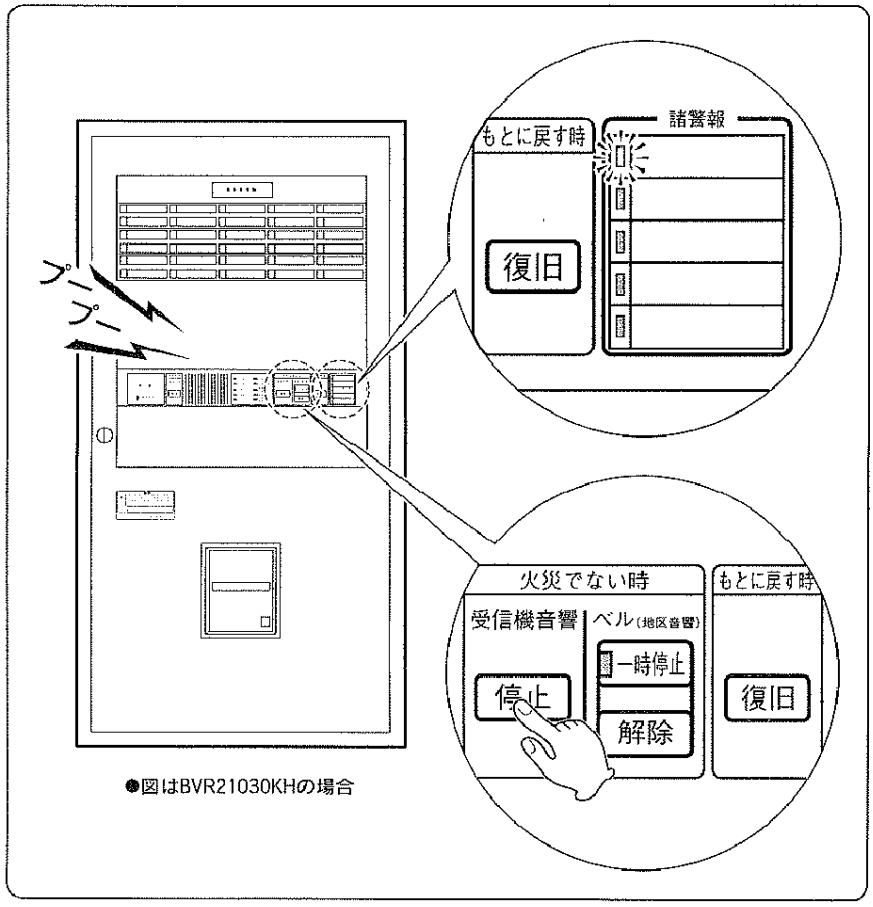
●火災警報時に非常放送のマイクスイッチを操作すると、非常放送が明瞭に聞こえるよう、
受信機に接続されている地区音響(ベルなど)は自動的に止まります。
受信機の非常放送中灯が点滅します。

【非常放送設備(音声警報機能付)】

●受信機の火災表示とともに非常放送設備の音声警報が作動します。

■諸警報時の対処方法

●諸警報音(プープー)が鳴ったら次の処置をしてください



❶ 諸警報表示部の点灯位置によって、異常内容を確かめる。

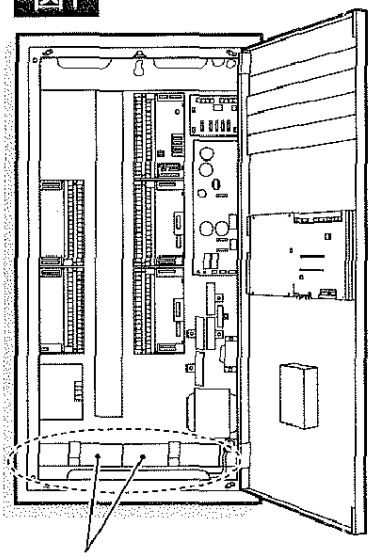
❷ 受信機音響停止スイッチを押し、諸警報音を止める。

❸ 異常が起きた設備の状況を確認し、施工店または点検契約店へ連絡してください。

7.電話機の使い方

注 ●電話の呼び出しがない状態では、受信機の電話ジャックにプラグを差し込まないでください。(呼び出しができません。)
●この電話機では、消防署への通報はできません。

図1



電話機

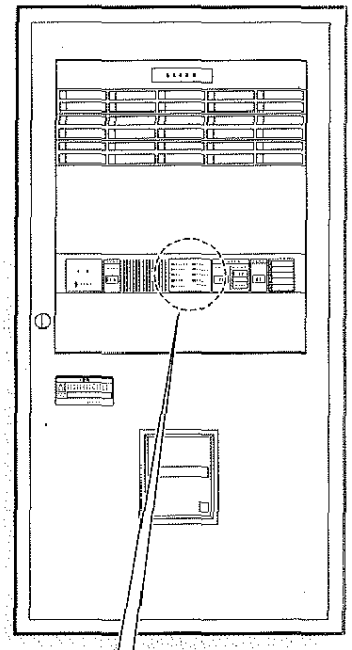
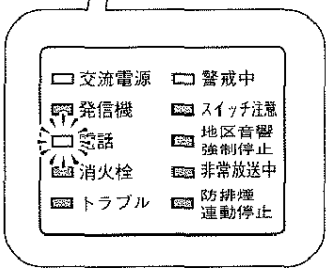


図2



●図はBVR21030KHの場合

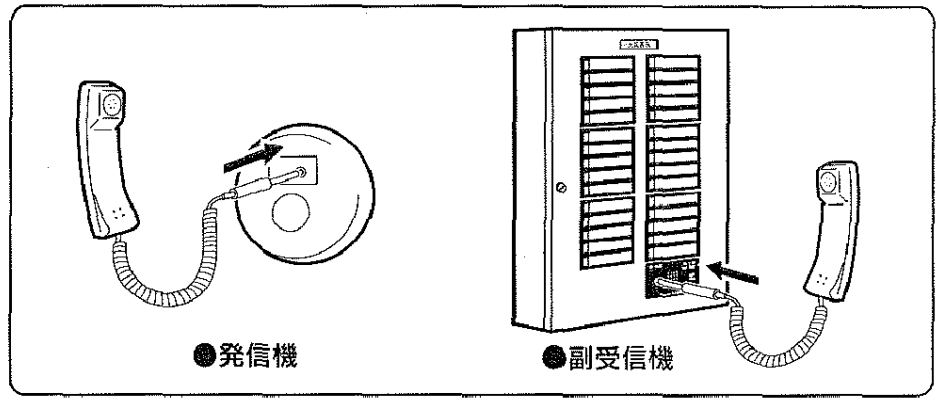
■火災状況の確認などの連絡ができます

●電話機の使い方

受信機と発信機間または受信機と副受信機間で、火災状況の確認など電話連絡ができます。

❶ 電話機(2台)は本体内に収納されています。 図1参照

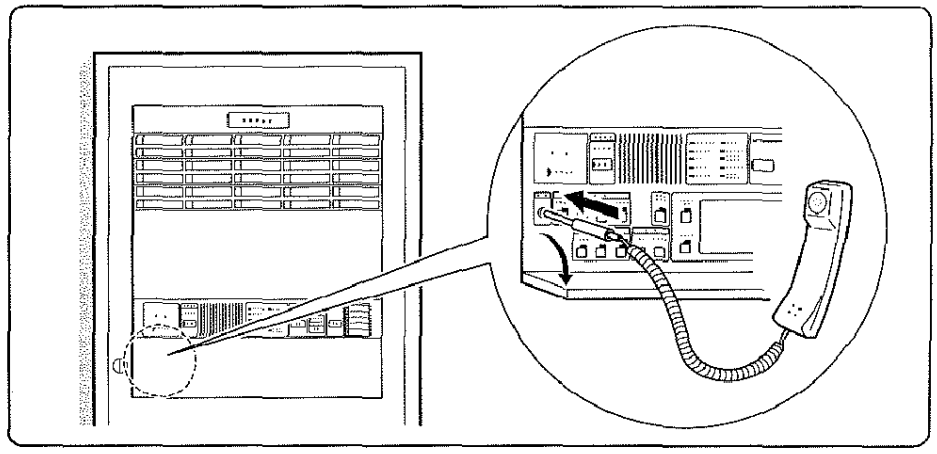
❷ 電話機のプラグを、発信機(または副受信機)の電話ジャックに差し込む。



●発信機　●副受信機

❸ 受信機の電話音響が自動的に鳴り、電話の呼び出しを知らせる。
●電話灯が点灯(赤)します。 図2参照

❹ 点検用スイッチカバーをあけ、電話ジャックにプラグを差し込めば、そのまま通話できます。
●電話音響は自動的に止まります。

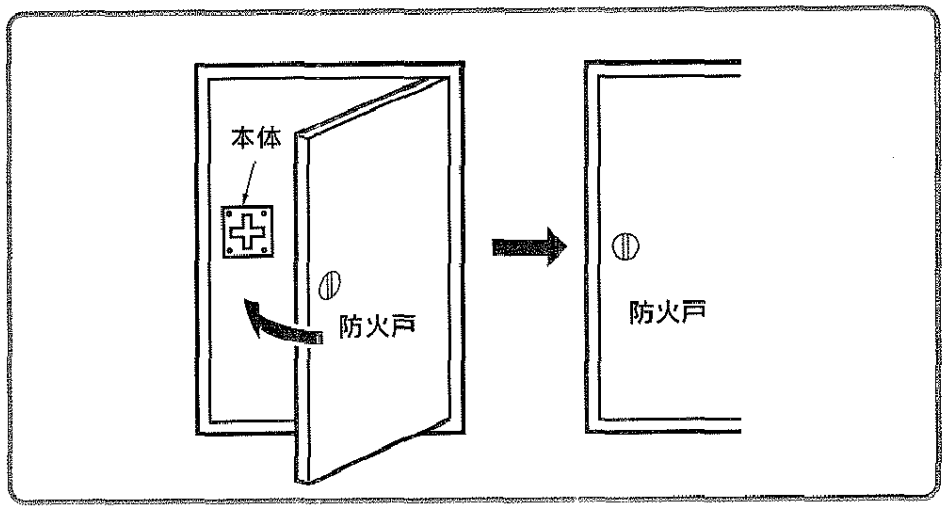


8.防火戸用ロックのリセット方法

●復旧スイッチを押した後、防火戸用ロックをリセットしてください。

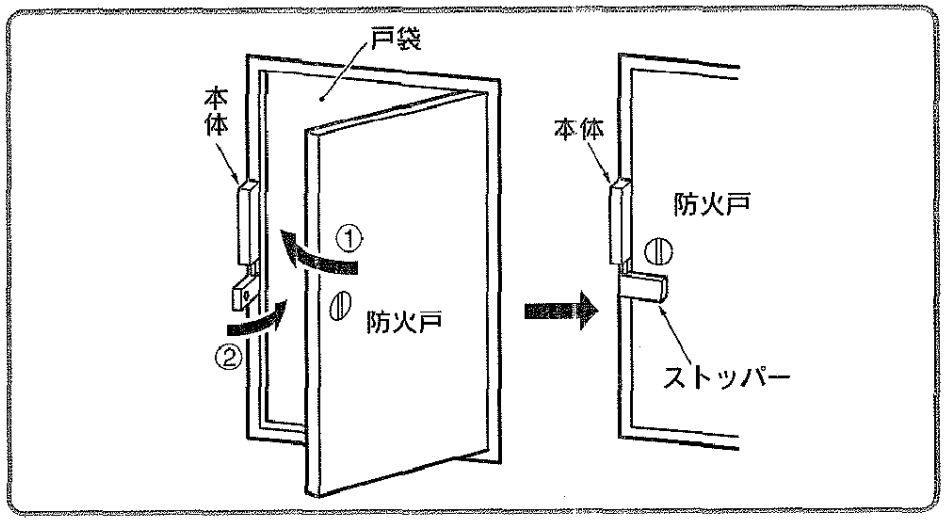
■キャッチロック

●防火戸を本体に押しつけることによりリセットができます。



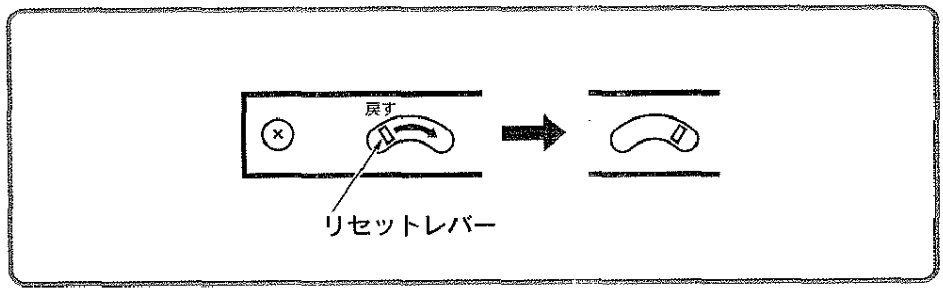
■露出型

●防火戸を戸袋に納め、ストッパーを元の位置まで回転させるとリセットができます。



■アーム型

●戸袋上枠に付いている本体のリセットレバーを時計方向に戻すとリセットができます。



9.日常点検

⚠注意

●日常、次の点検を行ってください。
緊急時の操作に支障をきたしたり、不動作、作動遅れ、誤動作の原因となります。

受信機

1．「4.平常時の受信機の状態」に保たれているか？
（12ページ参照）
2．近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

感知器

1．変形、割れなどがないか？
2．ペンキなどで塗装されていないか？
3．ビニールテープなどが貼り付けられていないか？
4．煙感知器の場合、クモの巣などがついていないか？
5．下にストーブなどの熱源が置かれていないか？
6．火災の感知を妨げる障害物がないか？
7．下に多量に煙の発するものを使用していないか？
8．空気管が切れたり、つぶれたりしていないか？

発信機

1．変形、損傷などがないか？
2．近くに、操作の支障となる障害物が置かれていないか？

表示灯

1．ランプが消えていないか？
2．カバーの割れ、亀裂はないか？

地区ベル

1．変形、損傷などがないか？

防火戸用ロック

1．損傷していないか？
2．防火戸が閉じる範囲内に障害物がおかれていないか？

機器に異常が見つかった場合は、点検契約店へご連絡ください。

10.異常時の点検・処置

⚠警告

必ず行う

●この設備に異常があるときは以下の点検・処置をしてください。異常を放置すると火災時に警報がでないため避難・消火活動が大幅に遅れる危険があります。

●以下の異常状態のときは、取り扱いされる方が点検・処置をしてください。

状　態	点　検	処　置
交流電源灯が消灯し、警報音(ピー)が10秒周期で鳴動する。	自動火災報知設備専用ブレーカーが「切」側になっていないか？	専用ブレーカーを「入」側にする。
火災でないのに警報動作をする。	煙感知器の近くに調理の煙・水蒸気・ホコリなどが滞留していないか？	煙・水蒸気などを取り除く。
	熱感知器の近くにストーブなど暖房の熱が直接当たっていないか？	熱などを取り除く。
	発信機の押ボタンが押されたままになっていないか？	発信機の押ボタンを元に戻す。
	どこにも火事や煙の発生がないことを十分確認しましたか？	地区音響を再鳴動させたくない場合は、扉をあけて、地区音響強制停止スイッチ(オレンジ色)を「強制停止」側にしてください。(25ページ参照) 注 **●スイッチ注意灯・地区音響強制停止灯が点滅し、警戒中灯が消灯し、約1分間隔でピッ音が鳴ります。この状態のままでは、正常に警報動作を行うことができません。必ず施工店または点検契約店に連絡してください。**
スイッチ注意灯が点滅している。	ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点灯していないか？	●ベル(地区音響)一時停止解除スイッチを押す。 ●ベル(地区音響)一時停止スイッチの赤色ランプが点灯していない場合は、施工店または点検契約店に連絡してください。

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

状　態	点　検	処　置
交流電源灯が消灯し、警報音（ピー）が10秒周期で鳴動する。	受信機内の交流電源スイッチが「切」側になっていないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	交流一次側ヒューズ（F1・F2）が切れていないか？	ヒューズ（F1・F2）を交換する。
警戒中灯が消えている。	点検時音響停止スイッチ・試験復旧スイッチが「ON」側になっていないか？	スイッチ内の赤色ランプが点灯しているスイッチを押す。
	地区音響強制停止灯が点滅していないか？	受信機内の地区音響強制停止スイッチを「解除」側にする。
火災でないのに警報動作する。	FRアドレスアダプタ二次側の感知器配線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す、感知器を確認する。
	感知器伝送配線が絶縁劣化していないか？	配線を直す、感知器を確認する。
	火災以外の原因はないか？	日常点検をする。（20ページ参照）
火災発報状態で復旧スイッチを押しても復旧しない。	感知器または発信機が作動状態になっていないか？	感知器から熱または煙を取り去る。発信機の押ボタンを元に戻す。
	FRアドレスアダプタ二次側の感知器配線が短絡していないか？	配線を直す。
	発信機灯が点灯していないか？	発信機の押ボタンを元に戻す。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［予備電源］を表示する。	電池が接続されているか？	受信機内の電池を接続する。
	電池ヒューズ（F7）が切れていないか？	ヒューズ（F7）を交換する。
	電池試験をすると液晶表示部に［結果　不良］が表示されないか？	新しい電池と交換する。（43ページ参照）
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［非常放送配線断線］を表示する。	非常放送地区音響停止端子（EB+・EB−）の配線が断線していないか？	配線を直す。
	非常放送地区音響停止端子（EB+・EB−）を使用していない場合、終端抵抗器が接続されているか？	非常放送地区音響停止端子に終端抵抗器を接続する。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［ヒューズ断線］を表示する。	発信機ヒューズ（F8）が切れていないか？	ヒューズ（F8）を交換する。
	地区音響ヒューズ（F9）が切れていないか？	ヒューズ（F9）を交換する。
	副受信機ヒューズ（F10）が切れていないか？	ヒューズ（F10）を交換する。
	防排煙制御ヒューズ（F11）が切れていないか？	ヒューズ（F11）を交換する。

10.異常時の点検・処置

●以下の異常状態のときは、施工店または点検契約店に連絡してください。

状　態	点　検	処　置
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［伝送不良］を表示する。	トラブル確認操作（37ページ）により、トラブル内容・発生場所を確認する。	37・38ページの該当項目の点検・処置を行う。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［中継器2次側断線］を表示する。	トラブル確認操作（37ページ）により、トラブル内容・発生場所を確認する。	37・38ページの該当項目の点検・処置を行う。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［感知器］を表示する。	トラブル確認操作（37ページ）により、トラブル内容・発生場所を確認する。	37・38ページの該当項目の点検・処置を行う。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［火災試験不良］を表示する。	トラブル確認操作（37ページ）により、トラブル内容・発生場所を確認する。	37・38ページの該当項目の点検・処置を行う。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［地区音響配線］を表示する。	トラブル確認操作（37ページ）により、トラブル内容・発生場所を確認する。	37・38ページの該当項目の点検・処置を行う。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［プリンタ］を表示する。	プリンター用紙が紙切れとなっていないか？	新しいプリンター用紙と交換する。（45ページ参照）
	内部のハーネスがはずれていないか？はずれかかっていないか？	電源を切り（電池もはずす）ハーネスを接続したあとに、再度電源を投入する。
	室温が0℃以下となっていないか？	室温を上げしばらく待ち、異常復旧するのを待つ。（約30分程度）
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［主回路電圧］を表示する。	交流電源スイッチが「切」側の状態で電池の電圧が低下していないか？	受信機内の交流電源スイッチを「入」側にする。
	副受信機電源（I+・I−）が20.4V以上あるか？	受信機内部の電源回路が故障です。当社へお問い合わせください。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［ユニット］を表示する。	内部のハーネスがはずれていないか？はずれかかっていないか？	電源を切り（電池もはずす）ハーネスを接続したあとに、再度電源を投入する。
	内部のユニットについているランプが消灯もしくは点灯のままになっていないか？	電源を切り（電池もはずす）約15秒後に再度、電源を投入する。
トラブル灯が点滅し、点検用スイッチカバー内のトラブル表示部に［メモリ］を表示する。	――	受信機内部のメモリー異常です。当社へお問い合わせください。

点検・施工される方へ

もくじ

1.各部のなまえとはたらき ―― 25～28

〔操作表示部〕

●試験・点検用スイッチ……25～26
●本体内部スイッチ（印字用）……27
●プリンター印字内容……28

2.点検のしかた ―― 29～38

●点検するまえに……29
●火災試験の方法（各回線ごと）……30
●火災試験の方法（各アドレスごと）…31～32
●一斉試験の方法……33～34
●予備電源試験と電池の電圧測定方法……35
●防排煙個別起動の方法……36
●トラブル確認の方法……37～38

3.時刻設定の方法 ―― 39～41

●現在時刻の設定方法……39～40
●自動試験時刻の設定方法……41

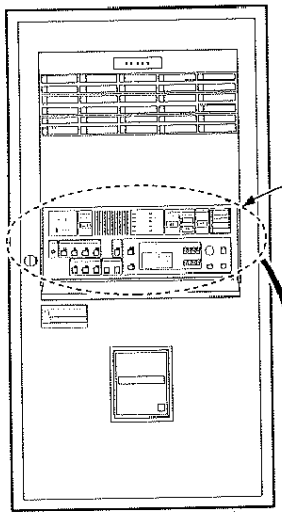
4.部品などの交換方法 ―― 43～46

●地区ラベルの交換……43
●電池の交換……43
●諸警報台紙について……44
●プリンター用紙の交換……45
●ヒューズの交換……46
●感知器・表示灯について……46

5.内部回路図 ―― 47～48

6.定格・仕様 ―― 49～50

1.各部のなまえとはたらき

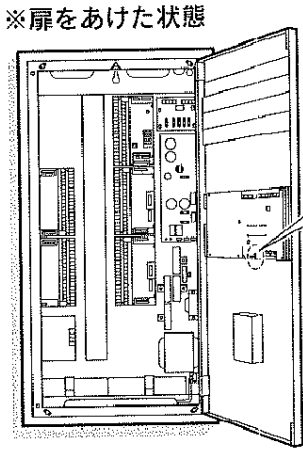


※点検用スイッチカバーを
あけた状態
●図はBVR21030KHの場合

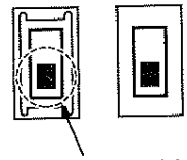
【操作表示部】

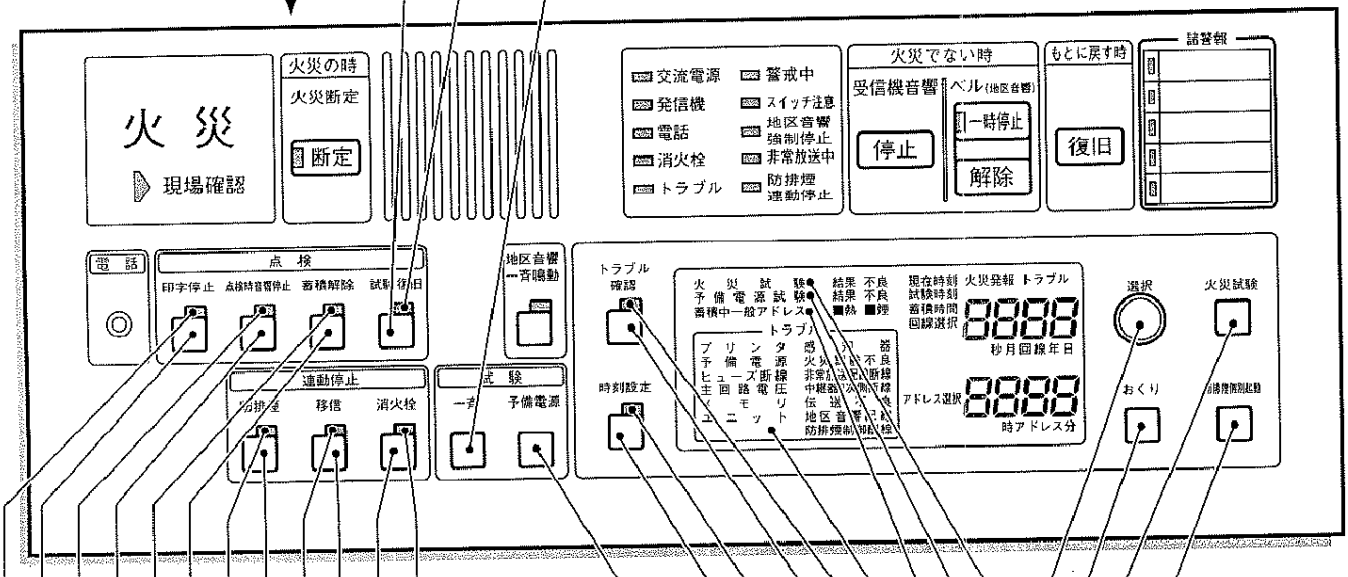
●試験・点検用スイッチ

※扉をあけた状態



29 地区音響強制停止スイッチ





13 試験復旧スイッチ
14 試験復旧灯
15 一斉試験スイッチ
12 消火栓連動停止灯
11 消火栓連動停止スイッチ
10 移信停止スイッチ
9 移信停止灯
8 防排煙連動停止スイッチ
7 防排煙連動停止灯
6 蓄積解除スイッチ
5 蓄積解除灯
4 点検時音響停止スイッチ
3 点検時音響停止灯
2 印字停止スイッチ
1 印字停止灯
予備電源試験スイッチ 16
時刻設定スイッチ 17
時刻設定灯 18
19 トラブル確認スイッチ
20 トラブル確認灯
21 トラブル表示
22 蓄積表示
23 予備電源試験表示
24 火災試験表示
25 選択スイッチ
26 おくりスイッチ
27 火災試験スイッチ
28 防排煙個別起動スイッチ

❶印字停止灯（赤）
印字停止スイッチが押されているときに点灯します。

❷印字停止スイッチ
押すとプリンターの印字が止まります。

❸点検時音響停止灯（赤）
点検時音響停止スイッチが押されているときに点灯します。

❹点検時音響停止スイッチ
（点検時のみ、使用してください。）
押すと受信機からの主音響・諸警報音響・トラブル音響は鳴動しません。

❺蓄積解除灯（赤）
蓄積解除スイッチが押されているときに点灯します。

❻蓄積解除スイッチ
押すと蓄積機能が解除されます。

❼防排煙連動停止灯（赤）
防排煙連動停止スイッチが押されているときに点灯します。

❽防排煙連動停止スイッチ
押すと感知器が作動しても接続された防火戸などは連動しません。

❾移信停止灯（赤）
移信停止スイッチが押されているときに点灯します。

❿移信停止スイッチ
押すと火災代表無電圧接点（Fa1、Fb1－Fd1のみ）の信号出力が「停止」状態となり、火災信号が入っても誘導灯は作動しません。非常放送設備への無電圧接点（EA1、…EAn、EF－EC）の信号出力が「停止」状態となり、火災信号が入っても非常放送の音声警報は鳴動しません。

⓫消火栓連動停止スイッチ
押すと発信機を押しても消火栓は連動しません。

⓬消火栓連動停止灯（赤）
消火栓連動停止スイッチが押されているときに点灯します。

⓭試験復旧スイッチ
押すと感知器の作動試験時に、受信機作動後、約6秒ごとに感知器などを強制的に自動復旧させます。
試験復旧中は、自動的に蓄積機能も解除されます。

⓮試験復旧灯（赤）
試験復旧スイッチが押されているときに点灯します。
（試験復旧スイッチを押したとき点滅することがありますが故障ではありません。
（試験復旧切替処理中のため点滅します。）
約1秒～8秒後に点灯に切り替わります。）

⓯一斉試験スイッチ
押すと全回線火災試験・防排煙作動表示試験・使用回線表示試験・ランプ表示試験・予備電源試験・蓄積時間測定試験・メモリーチェック試験が順次自動的に行われます。（33・34ページ参照）

⓰予備電源試験スイッチ
押すと自動的に予備電源試験を行います。
試験結果は液晶表示部に表示します。
●テスターなどで電圧を測定する場合は受信機内部の電圧測定用の端子を利用します。（35ページ参照）

⓱時刻設定スイッチ
押すと時刻設定状態となり、液晶表示部で年・月・日・時・分を設定することができます。（39～41ページ参照）

⓲時刻設定灯（赤）
時刻設定スイッチが押されているとき点灯します。

⓳トラブル確認スイッチ
押すとトラブル確認状態となり、液晶表示部にトラブル情報を表示します。

⓴トラブル確認灯（赤）
トラブル確認スイッチが押されているとき点灯します。

㉑トラブル表示
点灯したときは、「10.異常時の点検・処置」（22・23ページ）を参照してください。

㉒蓄積表示
蓄積時間測定試験時、蓄積中一般　蓄積中　アドレス を表示し、感知器種別は ■熱　■煙 で、蓄積時間はデジタル（秒）で表示します。

㉓予備電源試験表示
予備電源試験時、予備電源試験　結果　良　予備電源試験　結果不良 を知らせます。

㉔火災試験表示
火災試験時、火災試験　結果　良　火災試験　結果不良 を知らせます。

㉕選択スイッチ
火災試験・防排煙起動の回線選択時や時刻設定時に使用します。

㉖おくりスイッチ
火災警報状態、トラブル確認状態などで次の情報を見る場合に使用します。または火災試験のアドレス選択時に使用します。または、時刻設定時に使用します。

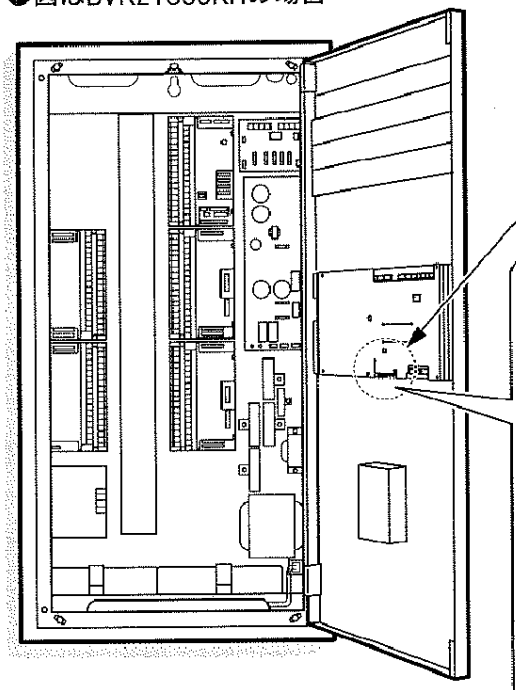
㉗火災試験スイッチ
各回線ごとまたは各アドレスごとの火災試験を行うときに使います。（30・31ページ参照）

㉘防排煙個別起動スイッチ
各回線ごとの防排煙起動を行うときに使います。（36ページ参照）

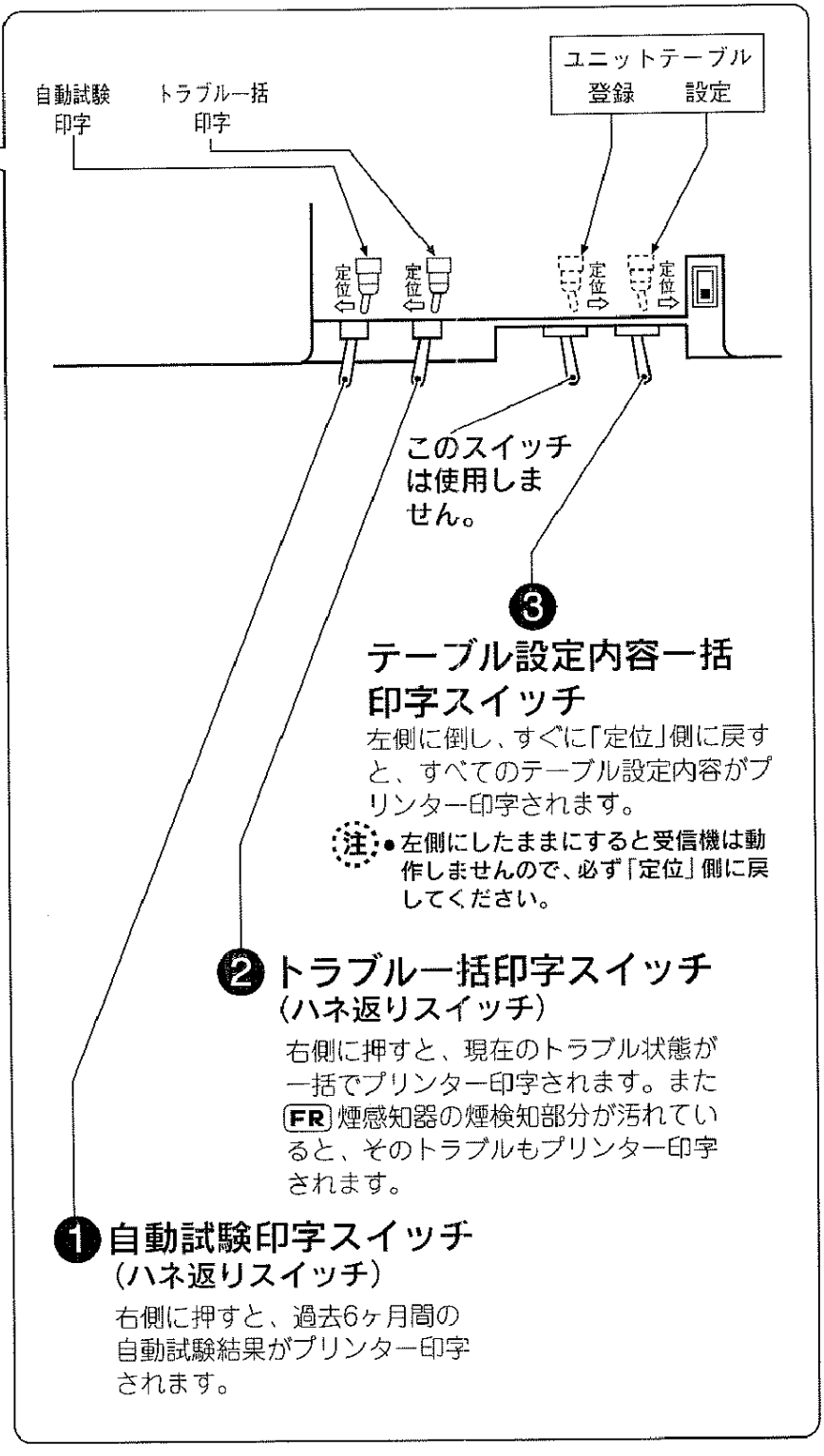
㉙地区音響強制停止スイッチ（点検時のみ使用してください。）
点検時、地区音響を鳴動させない場合、「強制停止」側にしてください。「強制停止」状態のときは地区音響強制停止灯とスイッチ注意灯が点滅し、警戒中灯が消灯します。約1分間隔で「ピッ」音が鳴ります。
点検終了後は「解除」側に戻してください。

1.各部のなまえとはたらき

●図はBVR21030KHの場合



【本体内部スイッチ】（印字用）



❸ テーブル設定内容一括印字スイッチ

左側に倒し、すぐに「定位」側に戻すと、すべてのテーブル設定内容がプリンター印字されます。

注 ●左側にしたままにすると受信機は動作しませんので、必ず「定位」側に戻してください。

❷ トラブル一括印字スイッチ（ハネ返りスイッチ）

右側に押すと、現在のトラブル状態が一括でプリンター印字されます。また FR 煙感知器の煙検知部分が汚れていると、そのトラブルもプリンター印字されます。

❶ 自動試験印字スイッチ（ハネ返りスイッチ）

右側に押すと、過去6ヶ月間の自動試験結果がプリンター印字されます。

プリンター印字内容

●トラブル一括印字例

```
非常放送線断線    11月12日16：14
                  受信機
ヒューズ断線      11月12日16：14
                  受信機
主回路電圧異常    11月12日16：14
                  受信機
ユニット異常      11月12日16：14
  Cn001           盤内ユニット
交流電源断        11月12日16：14
                  受信機
感知器異常        11月12日16：14
  1回線001番      光電一種
火災試験不良      11月12日16：14
  1回線001番      光電一種
伝送不良          11月12日16：14
  2回線002番      光電二種
中継器2次断線     11月12日16：14
  4回線015番      ADアダプタ
地区音響断線      11月12日16：14
  1回線           地区音響配線
感知器汚れ        11月12日16：14
  2回線013番      光電二種  1
感知器汚れ        11月12日16：15
  5回線005番      光電2信号 2
感知器汚れ        11月12日16：15
  9回線021番      光電三種  3
```

● 異常時の点検・処置（21～23ページ）、トラブル発生時の点検・処置（37・38ページ）を参照ください。

● FR煙感知器の煙検知部が汚れていると、「感知器汚れ」とプリンター印字され、汚れのレベルによりプリンター用紙の右端に「1」「2」「3」と表示されます。
● 汚れレベルは、下記のように3段階に分けられています。
汚れレベル1…3%/m相当の煙濃度の汚れ具合
汚れレベル2…6%/m相当の煙濃度の汚れ具合
汚れレベル3…9%/m相当の煙濃度の汚れ具合
● 「感知器汚れ…3」とプリンター印字されている感知器については、誤報が発生しやすいので新しい感知器と交換してください。

●自動試験結果印字例

```
▽自動試験結果記録  3月 4日 6：00
  自動試験         一正常

▽自動試験結果記録  3月11日 6：00
  自動試験         一正常

▽自動試験結果記録  3月18日 6：00
  感知器試験       一正常
  電路試験         一正常
  電源等試験       一正常
  予備電源試験     一異常

▽自動試験結果記録  3月25日 6：00
  自動試験         一正常

▽自動試験結果記録  4月 1日 6：00
  自動試験         一正常

▽自動試験結果記録  4月 7日 6：00
  感知器試験       一異常
  感知器異常
    1回線001番    光電一種
  火災試験不良
    1回線001番    光電一種
  電路試験         一正常
  電源等試験       一正常
  予備電源試験     一異常
  予備電源異常
                   受信機
```

● 過去6ヶ月間については、1週間ごとの自動試験結果を各試験項目ごとに「正常」または「異常」でプリンター印字します。

● すべての試験項目が正常な場合は、「自動試験一正常」とプリンター印字されます。

● 最近の自動試験結果については、各試験項目ごとの「正常」または「異常」表示のほかに異常内容（異常の種類・発生回線・発生アドレスなど）も印字します。

●テーブル設定内容一括印字例

※テーブル設定方法・印字内容については、付属の設定マニュアルを参照してください。

```
▽地区音響/非常放送鳴動設定
      一斉鳴動一設定

▽感知器回線一感知器番号設定
      感   1回線一   001番
      :
      感  30回線一   062番

▽蓄積/非蓄積設定
      非蓄積一設定なし

▽アイソレータ番号設定
    アイソレータ番号一  255番

▽感知器回線一防排煙制御回線設定
      感  16回線一制  16回線
      :
      感  30回線一制  30回線

▽防排煙監視回線一防排煙制御回線設定
      一設定なし

▽防排煙制御回線一感知器/防排煙回線設定
      制  16回線一感  16回線
      :
      制  30回線一感  30回線

▽連動用感知器回線設定
      一設定なし

▽部屋番号一感知器番号設定
      一001号室一   001番
      :
      一062号室一   062番
```

BVR210□□2KH(□□は回線数)の場合のみプリンター印字されます。

2.点検のしかた

点検するまえに

⚠注意

必ず行う

- 点検などで作動させる場合は、連動している設備の内容を十分確認して操作してください。
  不用意な操作は機器類に損害を与えたり、人に危害をおよぼすおそれがあります。
- 点検用スイッチカバーは操作後、必ず閉じてください。
  引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

MEMO

火災試験の方法（各回線ごと）

●この試験は、受信機内の試験をします。実際の火災発生時にシステムとして正常に作動することの確認は、感知器・発信機などの機器も含めて試験してください。

⚠警告

必ず行う

●試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻してください。火災時、正常な火災警報動作をしません。

■以下の試験は、点検用スイッチカバーをあけてください。

1 試験時、この受信機と接続されている端末を連動させないようにする場合は、次の該当するスイッチを「停止」側にしてください。

注 ●火災代表移信および非常放送連動をしないときは、「移信停止スイッチ」を押してください。（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）
無電圧接点（Fd1－Fa1・Fb1）（EA1,…EAn,EF－EC）が連動しません。
●消火栓連動をしないときは、「消火栓連動スイッチ」を押してください。
（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）H1・H2が連動しません。
●防排煙連動をしないときは、「防排煙連動スイッチ」を押してください。
（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）DC－D1…Dnが連動しません。
●受信機の音響を鳴動させない場合は、「点検時音響停止スイッチ」を押してください。
（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）
●地区音響を鳴動させない場合は、受信機内の「地区音響強制停止スイッチ」を「強制停止」側にしてください。（地区音響強制停止灯が点滅します。）BCn－B1…Bnが連動しません。

連続して行う場合

2 選択スイッチをまわし、火災試験を行う回線を選択する。

3 液晶表示部にデジタル表示される。
●選択した回線の地区灯が点滅します。

4 回線を選択したあと、火災試験スイッチを押す。
●1回線めの火災試験のときは、約7秒～12秒 間押し続けてください。
次の回線からは火災試験スイッチを押すだけで **5** の動作に移行します。

5 1）火災灯が点灯し、現場確認灯が点滅する。
●火災灯・現場確認灯は、復旧スイッチを再度押すまで点灯または点滅します。
2）選択した回線の地区灯が点灯し、プリンター印字される。

注 ●防排煙側の地区灯は、上部灯が点灯し下部灯は点滅します。

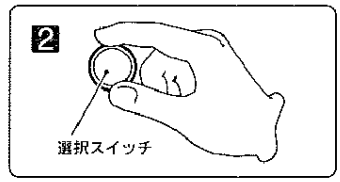
6 復旧スイッチを押して、警報を止める。
●プリンター印字されます。

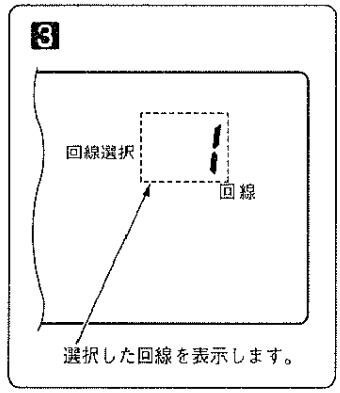
7 選択スイッチをまわし、液晶表示部内の回線選択数字が最大値（回線数）と「1」の間に選択スイッチをまわすと数字が消えます。（地区灯も消えます。）
この位置で、選択スイッチを止めてください。

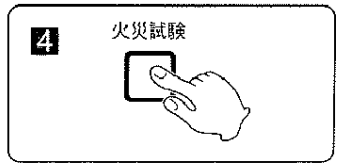
8 **1** で連動停止・音響停止させたスイッチを平常時の状態に戻してください。（スイッチ内のランプは消灯します。）

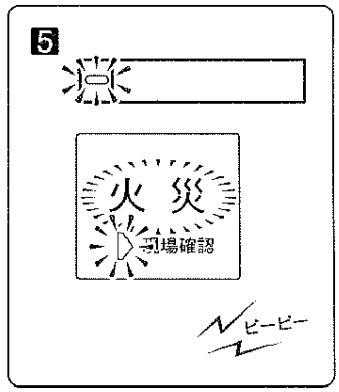
注 ●地区音響を止めた場合は、受信機内の「地区音響強制停止スイッチ」を「解除」側にしてください。（地区音響強制停止灯が消灯します。）

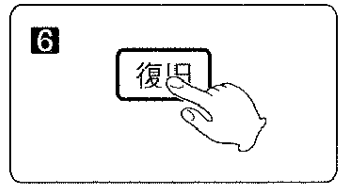
9 スイッチ注意灯が消灯し、平常時の監視状態に戻ります。











試験中に火災を受信した場合

●試験中の回線が火災を受信した場合、**8** の操作のあとに火災警報をします。
●試験中以外の回線が点灯した場合、その回線で火災発生の可能性があります。復旧操作後の「火災」表示で火災の確認をしてください。

2.点検のしかた

火災試験の方法（各アドレスごと）

●この試験は、FR感知器・FR発信機・FRアドレスアダプタの試験をします。実際の火災発生時にシステムとして正常に作動することの確認は、FR感知器・FR発信機・FRアドレスアダプタなどの機器も含めて試験してください。

⚠警告

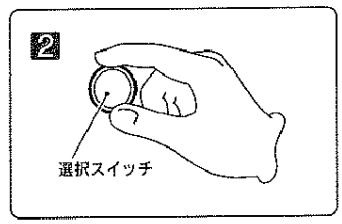
必ず行う

●試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻してください。火災時、正常な火災警報動作をしません。

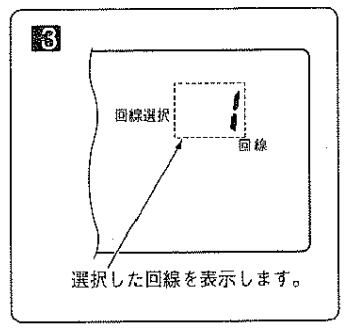
■以下の試験は、点検用スイッチカバーをあけてください。

1 試験時、この受信機と接続されている端末を連動させないようにする場合は、次の該当するスイッチを「停止」側にしてください。

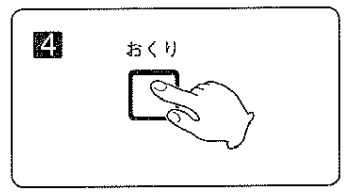
注 ●火災代表移信および非常放送連動をしないときは、「移信停止スイッチ」を押してください。（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）
無電圧接点（Fd1－Fa1・Fb1）（EA1,…EAn,EF－EC）が連動しません。
●消火栓連動をしないときは、「消火栓連動スイッチ」を押してください。（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）H1・H2が連動しません。
●防排煙連動をしないときは、「防排煙連動スイッチ」を押してください。（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）DC－D1…Dnが連動しません。
●受信機の音響を鳴動させない場合は、「点検時音響停止スイッチ」を押してください。（スイッチ内の赤色ランプが点灯します。）
●地区音響を鳴動させない場合は、受信機内の「地区音響強制停止スイッチ」を「強制停止」側にしてください。（地区音響強制停止灯が点滅します。）
BCn－B1…Bnが連動しません。



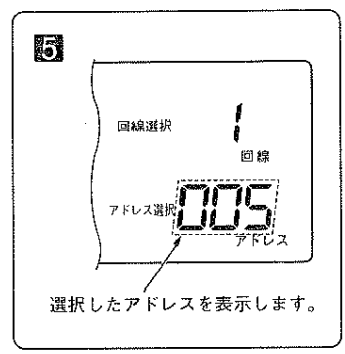
2 選択スイッチをまわし、火災試験を行う回線を選択する。



3 液晶表示部にデジタル表示される。
●選択した回線の地区灯が点滅します。



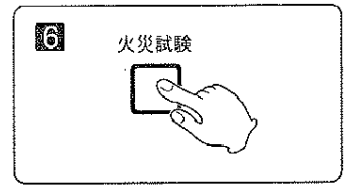
4 回線を選択したあと、おくりスイッチを押し火災試験を行うアドレスを選択する。



5 液晶表示部にデジタル表示される。

6 アドレスを選択したあと、火災試験スイッチを押す。

●1アドレスめの火災試験のときは、下記の時間経過後、7の動作に移ります。
○FR煙感知器を火災試験した場合……約45秒後
○FR熱感知器を火災試験した場合……約7秒後
○FRアドレスアダプタを火災試験した場合……約55秒後
○FR発信機を火災試験した場合……5秒以内
次のアドレスからは火災試験スイッチを押すだけで、7の動作に移ります。
●火災試験が正常にできなかった場合は、7の動作に移りません。このとき、トラブル灯が点滅し、液晶表示部内のトラブル表示部に 火災試験不良 が表示されますので、異常時の点検・処理（23ページ参照）、トラブル発生時の点検・処理（37・38ページ参照）をしたあと、再度火災試験を行ってください。



連続して行う場合

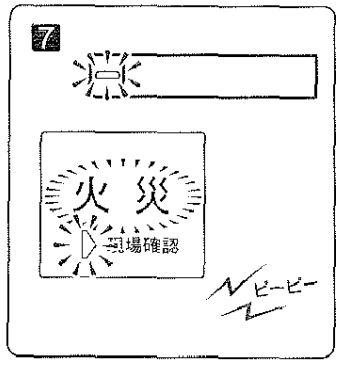
次のページに続く

7 1）火災灯が点灯し、現場確認灯が点滅する。

●火災灯・現場確認灯は、復旧スイッチを再度押すまで点灯または点滅します。

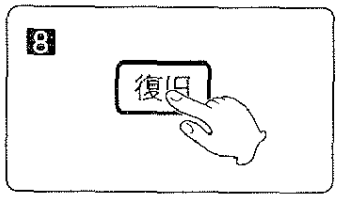
2）選択した回線の地区灯が点灯し、プリンター印字される。

注 ●防排煙側の地区灯は、上部灯が点灯し下部灯は点滅します。



8 復旧スイッチを押して、警報を止める。

●プリンター印字されます。



9 選択スイッチをまわし、液晶表示部内の回線選択数字が最大値（回線数）と「1」の間に選択スイッチをまわすと数字が消えます。（地区灯も消えます。）
この位置で、選択スイッチを止めてください。

10 **1** で連動停止・音響停止させたスイッチを再度、押してください。（スイッチ内のランプは消灯します。）

注 ●地区音響を止めた場合は、受信機内の「地区強制停止スイッチ」を「解除」側にしてください。
（地区音響強制停止灯が消灯します。）

11 スイッチ注意灯が消灯し、平常時の監視状態に戻ります。

試験中に火災を受信した場合

●試験中の回線が火災を受信した場合、**10**の操作のあとに火災警報をします。

●試験中以外の回線が点灯した場合、その回線で火災発生の可能性があります。復旧操作後の「火災」表示で火災の確認をしてください。

MEMO

2.点検のしかた

一斉試験の方法

●この試験は、1回線めから順次、自動的に受信機内の試験をします。実際の火災発生時にシステムとして正常に作動することの確認は、感知器・発信機などの機器も含めて試験してください。

⚠警告

必ず行う

●試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻してください。火災時、正常な火災警報動作をしません。

■以下の試験は、点検用スイッチカバーをあけてください。

1 一斉試験スイッチを押してください。

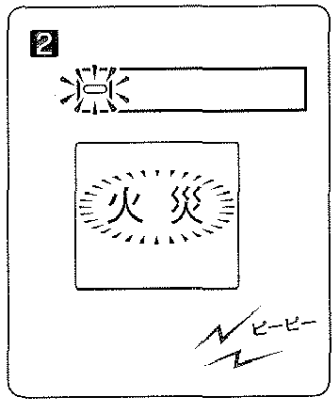
●「全回線火災試験」「防排煙作動表示試験」「使用回線表示試験」「ランプ表示試験」「予備電源試験」「蓄積時間測定試験」「メモリーチェック試験」を順次、自動的に行います。

全回線火災試験

2 地区灯（上部灯）が回線ごとに順次点滅し、その後点灯することを確認してください。

●順次、点灯するごとに火災灯が点灯し、主音響が鳴動することを確認してください。

●地区音響は鳴動しません。

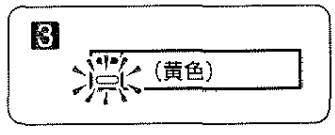


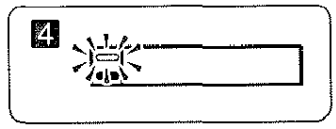
防排煙作動表示試験
（地区窓が黄色の回線）

3 地区灯（下部灯）が回線ごとに順次点灯することを確認してください。

使用回線表示試験

4 使用されている回線の地区灯（上部灯）だけが点灯することを確認してください。（約10秒間）



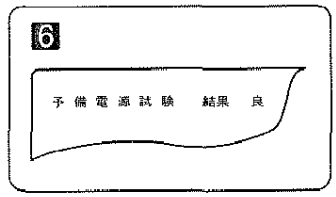


ランプ表示試験

5 火災灯・操作部のすべてのランプ・液晶表示部のすべての表示内容を表示することを確認してください。（約10秒間）

予備電源試験

6 液晶表示部に 予備電源試験 および 結果　良 が表示されることを確認してください。



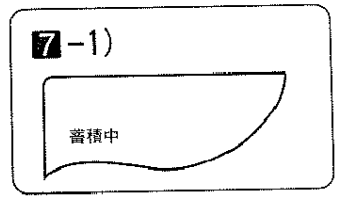
次のページに続く

蓄積時間測定試験

7

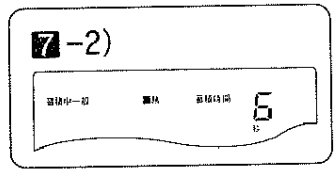
1) 液晶表示部に 蓄積中 が表示されることを確認してください。

●ピッという音で、熱感知器および煙感知器の蓄積開始を知らせます。



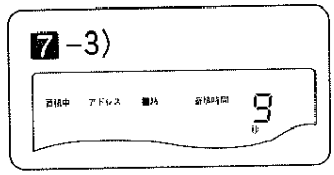
2) 5秒～10秒(約6秒)後に ■熱 および 蓄積時間6秒 を表示することを確認してください。(約3秒間)

●ピッという音で、一般熱感知器の蓄積終了を知らせます。



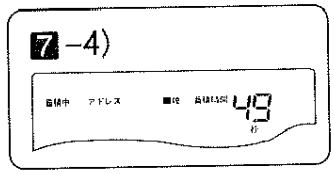
3) 5秒～10秒(約9秒)後に ■熱 および 蓄積時間9秒 を表示することを確認してください。(約5秒間)

●ピッという音で、FR 熱感知器の蓄積終了を知らせます。



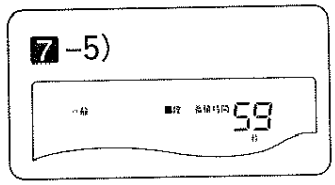
4) 45秒～50秒(約49秒)後に ■煙 および 蓄積時間49秒 を表示することを確認してください。(約5秒間)

●ピッという音で、FR 煙感知器の蓄積終了を知らせます。



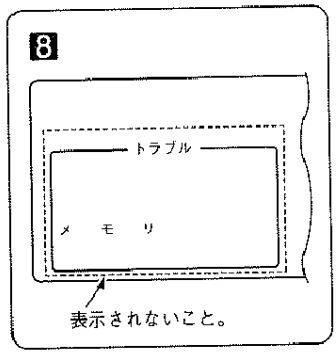
5) 55秒～60秒(約59秒)後に ■煙 および 蓄積時間59秒 を表示することを確認してください。(約5秒間)

●ピッという音で、一般煙感知器の蓄積終了を知らせます。



メモリーチェック試験

8 液晶表示部に メモリ が表示されないことを確認してください。



以上の確認で異常がなければ正常です。

9 平常時の監視状態に戻ります。

試験中に火災を受信した場合

●自動的に試験状態を解除し、ただちに火災警報します。

2.点検のしかた

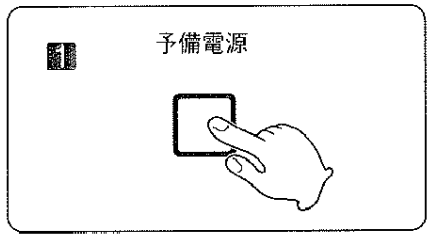
予備電源試験と電池の電圧測定方法

● この試験は、受信機の予備電源として内蔵されている電池に異常がないかを調べるものです。
電池の電圧を測定する場合は、下記の「電圧測定」をしてください。

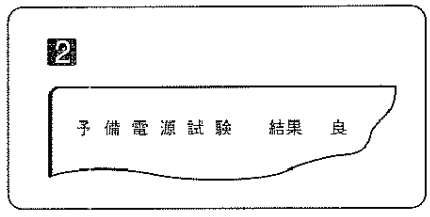
■以下の試験は、点検用スイッチカバーをあけてください。

予備電源試験

1 予備電源スイッチを押す。



2 液晶表示部に試験結果
結果　良 または
結果 不良 が表示
され、プリンター印
字される。

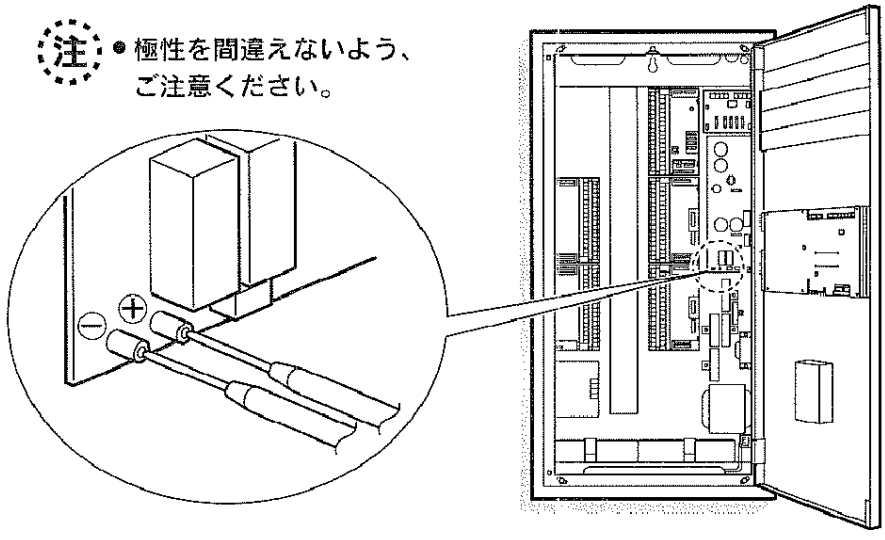


● 結果 不良 が表示された場合、
電池を交換してください。
（43ページ参照）

電圧測定

■本体内の電池電圧の端子
に、テスターを当てて
予備電源試験スイッチを
押しながら測定する。
(20.4V以上あれば正常です。)

注 ● 極性を間違えないよう、
ご注意ください。



防排煙個別起動の方法

●この試験は、各回線の防排煙機能が正常に働くかを試験します。

⚠警告

必ず行う

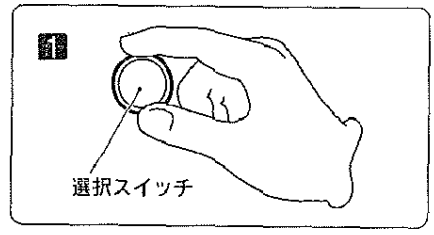
●試験終了後は、スイッチ注意灯が点滅しないよう該当するスイッチを平常時の状態に戻してください。火災時に正常な火災警報動作をしません。

●防火戸などを作動させた場合は試験終了後にリセットしてください。
火災時に正常な動作をしません。

■以下の試験は、点検用スイッチカバーを開けてください。

1 選択スイッチをまわし、防排煙個別起動を行う回線を選択する。

●防排煙個別起動中は、スイッチ注意灯が点滅しています。



2 液晶表示部にデジタル表示される。

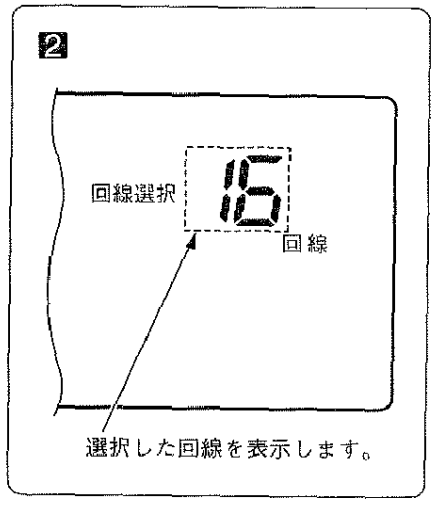
●選択した回線の地区灯が点滅します。

3 回線を選択したあと、防排煙個別起動スイッチを押す。

4 地区灯の下部が点灯する。

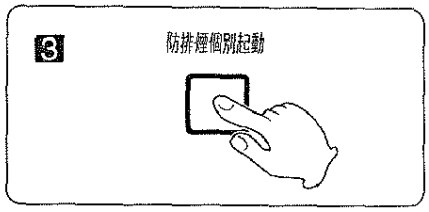
●防排煙側の選択した回線の防火戸などが作動し、地区灯の下部が点灯し、プリンター印字されます。

（地区灯が点滅し、プリンター印字されない場合は、防火戸などが未作動です。）

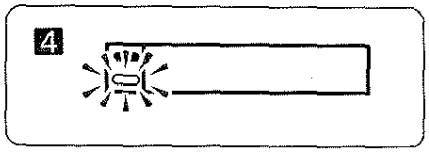


5 復旧スイッチを押す。

●プリンター印字されます。



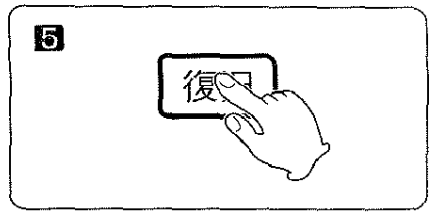
6 選択スイッチをまわし、液晶表示部内の回線選択数字が最大値（回線数）と「1」の間に選択スイッチをまわすと、数字が消えます。
（地区灯も消えます。）
この位置で選択スイッチを止めてください。



7 防火戸などをリセットする。

（19ページ参照）

●地区灯の下部が消灯したことを確認してください。



2.点検のしかた

トラブル確認の方法

●この操作はトラブル灯が点滅し、点灯用スイッチカバー内のトラブル表示部に 伝送不良 中継器2次側断線 感知器 火災試験不良 地区音響配線 のいずれかを表示したとき、そのトラブルの発生回線・発生アドレスを確認するための操作です。

■以下の操作は、点検用スイッチカバーをあけてください。

1 トラブル確認スイッチを押す。

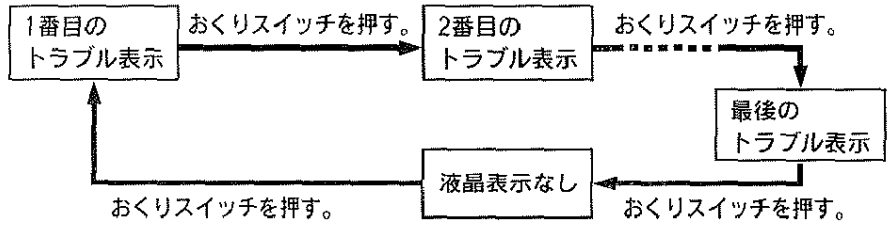
●スイッチ内のランプは点灯します。

2 液晶表示部にトラブルの発生回線・発生アドレスを表示する。

●図の液晶表示は、1回線12アドレスの FR 感知器・FR アドレスアダプタまたは FR 発信機との交信が正常でないときの表示です。
（記号Aは伝送不良を意味します。）

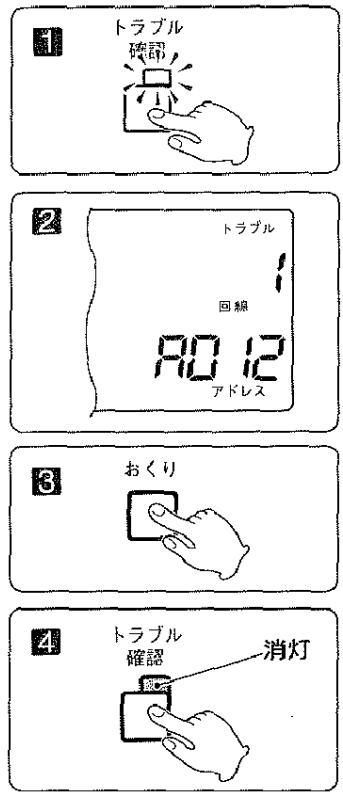
3 トラブルが複数箇所で発生している場合は、おくりスイッチを押す。

●おくりスイッチを押すたびに次のトラブルデジタル表示に変わります。

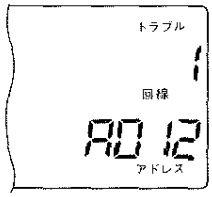
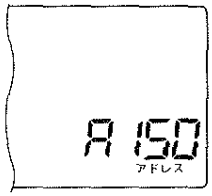


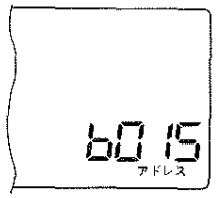
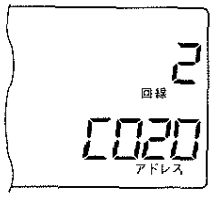
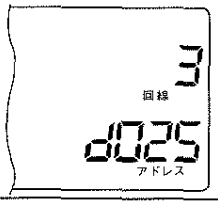
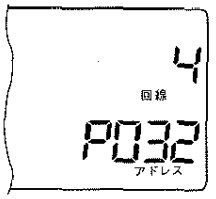
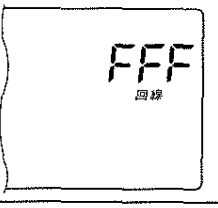
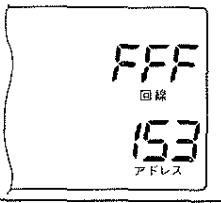
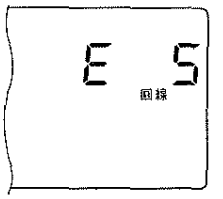
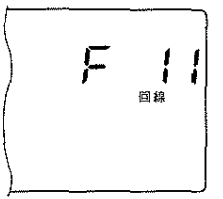
4 トラブル確認スイッチを押す。

●スイッチ内のランプは消灯します。
●液晶表示部内のトラブルデジタル表示は消灯します。



■トラブル発生時の点検・処置

液晶表示	内　容	点　検	処　置
	1回線12アドレスの FR 感知器・FR アドレスアダプタまたは FR 発信機との交信が正常に行えない。 （記号「A」は伝送不良を意味します。）	感知器伝送配線が断線または短絡していないか？	配線を直す。
		該当アドレスの端末が複数個接続されていないか？	重複している端末のアドレスを変更する。
		感知器のヘッドが取りはずされていないか？	感知器のヘッドを取り付ける。
		感知器のアドレス設定を忘れていないか？	感知器のアドレスを設定する。（詳細はアドレス設定器に付属の取扱説明書を参照してください。）
	150アドレスの FR アイソレータとの交信が正常に行えない。 （記号「A」は伝送不良を意味します。）	感知器伝送配線が断線または短絡していないか？	配線を直す。
		該当アドレスの端末が複数個接続されていないか？	重複している端末のアドレスを変更する。（詳細はアドレス設定器に付属の取扱説明書を参照してください。）

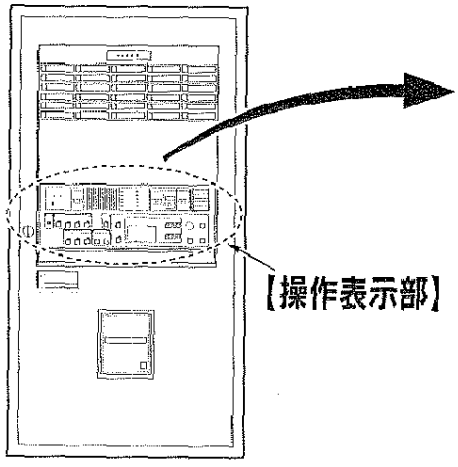
液晶表示	内　容	点　検	処　置
	テーブルに設定されていない(FR)アドレスアダプタ・(FR)発信機または(FR)アイソレータからの応答がある。 (記号「b」は伝送不良(余分)を意味します。)	該当アドレスを受信機のテーブル(端末アドレス設定またはアイソレータ設定)に設定し忘れていないか？	該当アドレスを受信機のテーブル(端末アドレス設定またはアイソレータ設定)に設定する。(設定マニュアルを参照してください。)
		該当アドレスの端末が余分に接続されていないか？	該当アドレスの端末のアドレスを変更する。
	2回線20アドレスの(FR)アドレスアダプタの2次側感知器配線が断線している。 (記号「C」は中継器2次側断線を意味します。)	2次側感知器配線が断線していないか？	配線を直す。
		2次側感知器配線に終端器が接続されていないか？	終端器((FR)アドレスアダプタに付属)を接続する。
		指定以外の終端器が接続されていないか？	指定の終端器((FR)アドレスアダプタに付属)と交換する。
	3回線25アドレスの(FR)感知器または(FR)アドレスアダプタが異常である。 (記号「d」は感知器異常を意味します。)	該当アドレスが(FR)感知器(熱感知器、煙感知器)の場合	感知器の内部回路の異常です。当社へお問い合わせください。
	4回線32アドレスの(FR)感知器・(FR)アドレスアダプタまたは(FR)発信機との火災試験が正常に行えない。 (記号「P」は火災試験不良を意味します。)	感知器伝送配線が断線または短絡していないか？	配線を直す。
		該当アドレスの端末が複数個接続されていないか？	重複している端末のアドレスを変更する。 (詳細はアドレス設定器に付属の取扱説明書を参照してください。)
		該当アドレスに(FR)アイソレータが接続されていないか？	正しい端末((FR)感知器、(FR)アドレスアダプタまたは(FR)発信機)に接続し直す。
		感知器のヘッドが取りはずされていないか？	感知器ヘッドを取り付ける。
		感知器のアドレス設定を忘れていないか？	感知器のアドレス設定をする。 (詳細はアドレス設定器に付属の取扱説明書を参照してください。)
		トラブル一括印字を行い、印字内容の中に、該当アドレスの感知器の汚れレベル3が印字されていないか？(27・28ページ参照)	汚れレベル3の感知器を交換する。
	感知器伝送配線が短絡している。 (記号「FFF」は感知器伝送配線短絡を意味します。)	感知器伝送配線が短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。
	153アドレスの(FR)アイソレータ2次側の伝送配線が短絡している。 (記号「FFF」は感知器伝送配線短絡を意味します。)	該当アドレスの(FR)アイソレータ2次側の感知器伝送配線が、短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直したあとに、受信機の電源を切り(電池をはずす)、再度、電源を投入する。
	地区音響5回線の配線が断線している。 (記号「E」は地区音響配線断線を意味します。)	地区音響配線が、断線していないか？	配線を直す。
		地区音響配線に終端器が接続されているか？	終端器(BVS9903)を接続する。
		指定以外の終端器が接続されていないか？	指定の終端器(BVS9903)と交換する。
	地区音響11回線の配線が短絡している。 (記号「F」は地区音響配線短絡を意味します。)	地区音響配線が、短絡または絶縁劣化していないか？	配線を直す。

3.時刻設定の方法

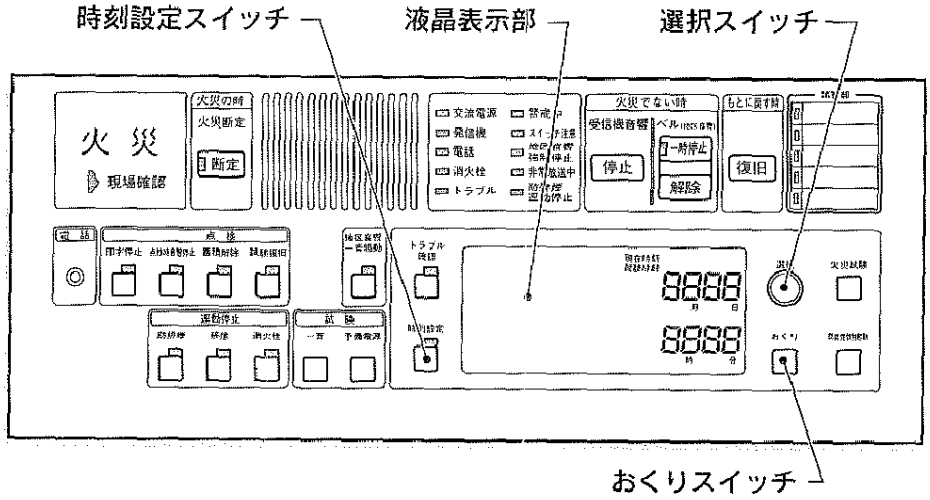
⚠注意

●点検用スイッチカバーは、操作後必ず閉じてください。
引っ掛けてケガをしたり、誤操作の原因となります。

●図はBVR21030KHの場合

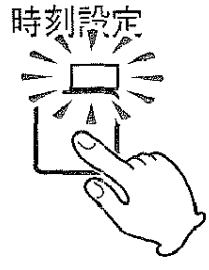
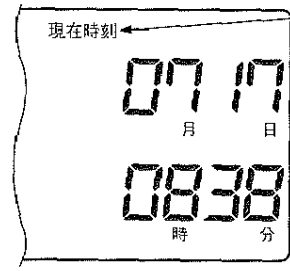
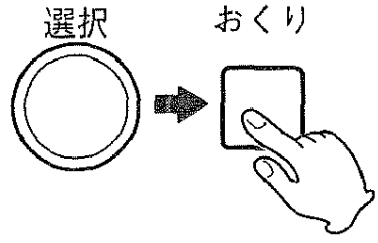
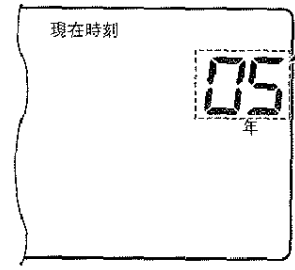


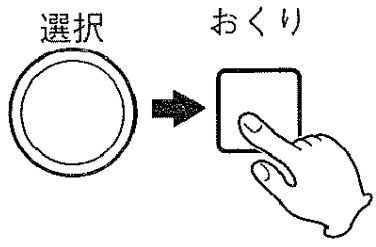
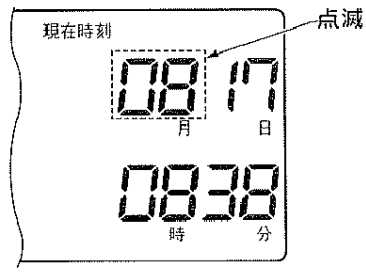
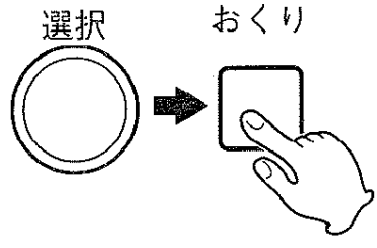
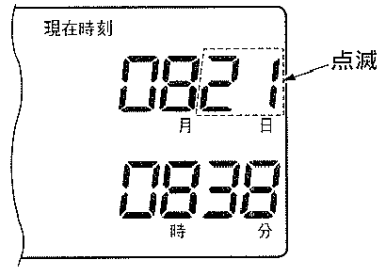
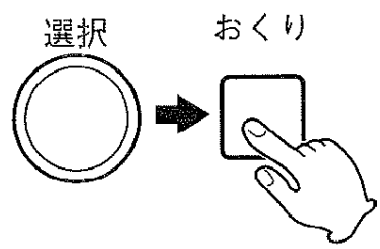
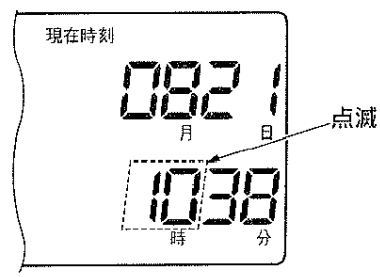
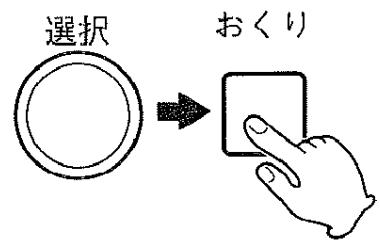
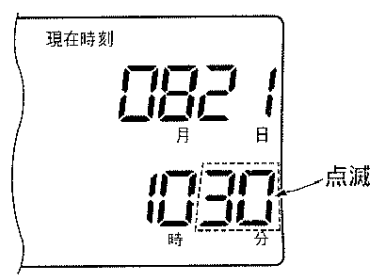
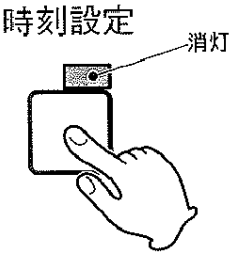
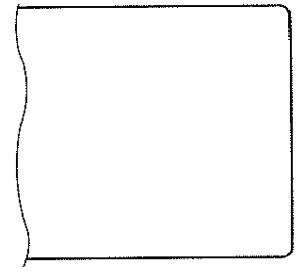
※点検用スイッチカバーをあけた状態



現在時刻の設定方法

■以下の設定は、点検用スイッチカバーを開けてください。
〈例〉現在時刻を「05年8月21日10時30分」に設定する場合

操作方法	各　部	液晶表示部
1 時刻設定スイッチを押す。 ●スイッチ内のランプは点灯します。 ●液晶表示部に現在時刻を表示します。		 ●「現在時刻」表示が点滅しない場合は、おくりスイッチを押してください。
2 選択スイッチを右にまわし年表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「０５」に設定する。		

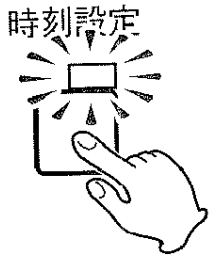
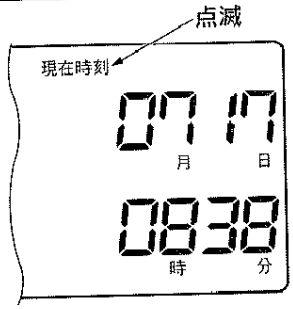
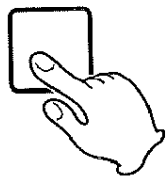
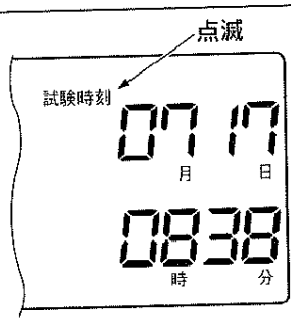
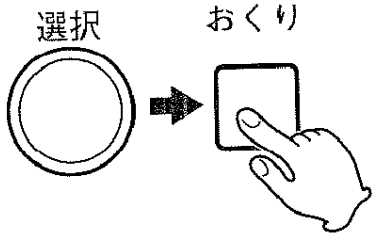
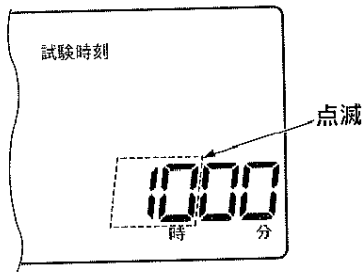
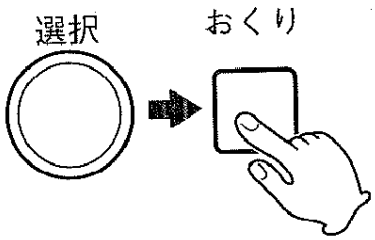
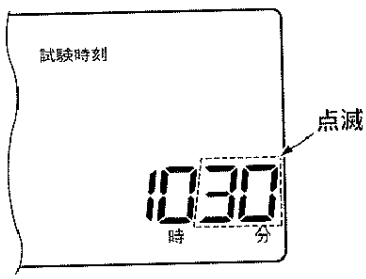
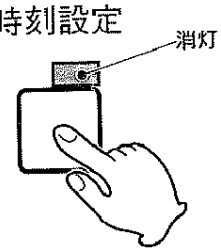
操作方法	各　部	液晶表示部
3 選択スイッチを右にまわし月表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「０８」に設定する。		
4 選択スイッチを右にまわし日表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「２１」に設定する。		
5 選択スイッチを右にまわし時表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「１０」に設定する。		
6 選択スイッチを右にまわし分表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「３０」に設定する。		
7 時刻設定スイッチを押す。 ●スイッチ内のランプは消灯します。 ●液晶表示部の表示は消えます。 ●設定した時刻をプリンター印字します。 （時刻を変更しなかった場合はプリンター印字はされません。）		

3.時刻設定の方法

自動試験時刻の設定方法

■以下の設定は、点検用スイッチカバーをあけてください。

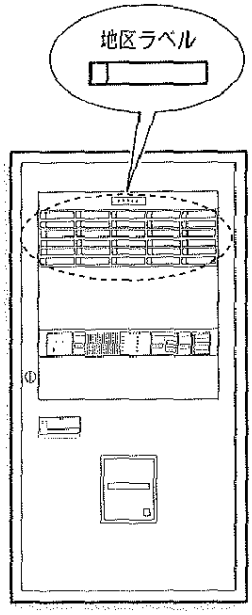
〈例〉自動試験時刻を「10時30分」に設定する場合

操作方法	各　部	液晶表示部
1 時刻設定スイッチを押す。 ●スイッチ内のランプは点灯します。 ●液晶表示部に現在時刻を表示します。		
2 おくりスイッチを押す。 ●「現在時刻」の点滅が「試験時刻」の点滅に変わります。		
3 選択スイッチを右にまわし、時表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「１０」に設定する。 ●選択スイッチをまわすと液晶表示部に試験時刻を表示します。		
4 選択スイッチを右にまわし、分表示を点滅させ、おくりスイッチを押し「３０」に設定する。		
5 時刻設定スイッチを押す。 ●液晶表示部の表示は消灯します。		――

MEMO

4.部品などの交換方法

地区ラベルの交換



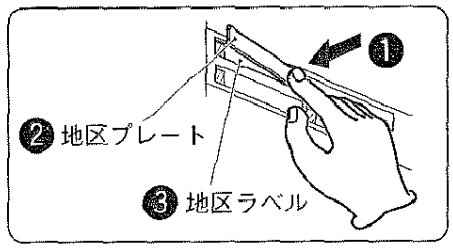
●地区ラベル（白色：BV9957）（別売）、（黄色：BVJ31083307）（別売）、地区プレート（BV9956）（別売）については当社へお問い合わせください。

取りはずす場合

❶ 地区プレートの右端を押す。（左端が持ち上がります。）

❷ 地区プレートの左端を持ち取りはずす。

❸ 次に、地区ラベルを取りはずす。



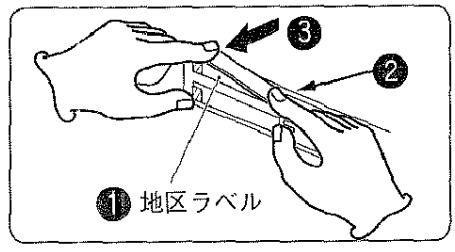
取り付ける場合

❶ 地区ラベルを挿入する。

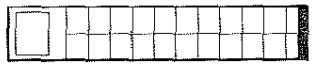
❷ 地区プレートの右端を押す。

❸ 地区プレートの右端を押したまま、左端を差し込む。

❹ 右端をはなしたあと、左端をはなす。



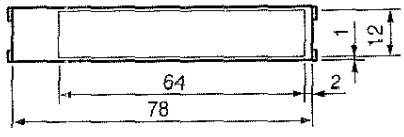
地区ラベルについて



名称の先頭をそろえるとき…

● 図のように、裏面に位置決めのための印がついています。表から薄く見えますので、ご活用ください。

地区プレートに彫刻をする場合



□ 部内に彫刻する。（単位＝mm）

電池の交換

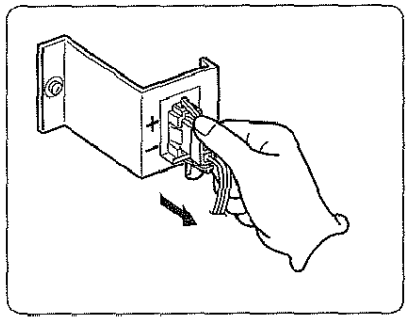
注 ●電池を取りはずすときは、必ずAC100V電源は「切」の状態で行ってください。
●ニカド電池は、当社受信機専用品（鑑定合格品）をご使用ください。（49ページ参照）

お願い事項

●ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済の電池は捨てないで、リサイクルへご協力ください。
●ニカド電池の寿命は約3年です。取り付け日から3年をめやすに交換してください。
停電時、正常に機能しない場合があります。

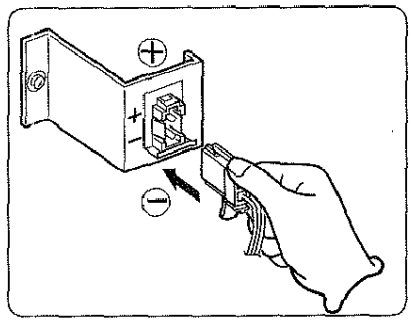
接続コネクタの取りはずし方

❶ 接続コネクタの両端をつまみながらぬき、電池を取りはずす。

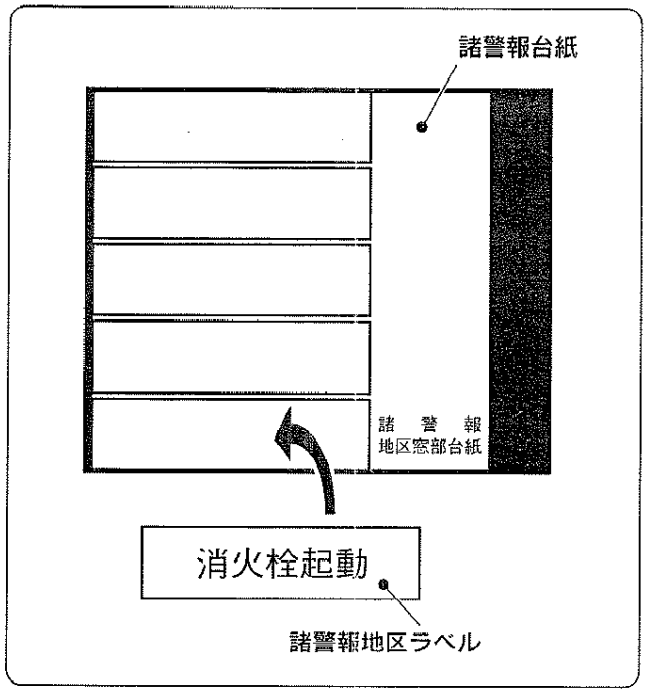


取り付ける場合

❶ 新しい電池の接続コネクタを差し込み、電池を本体内に収納する。



諸警報台紙について

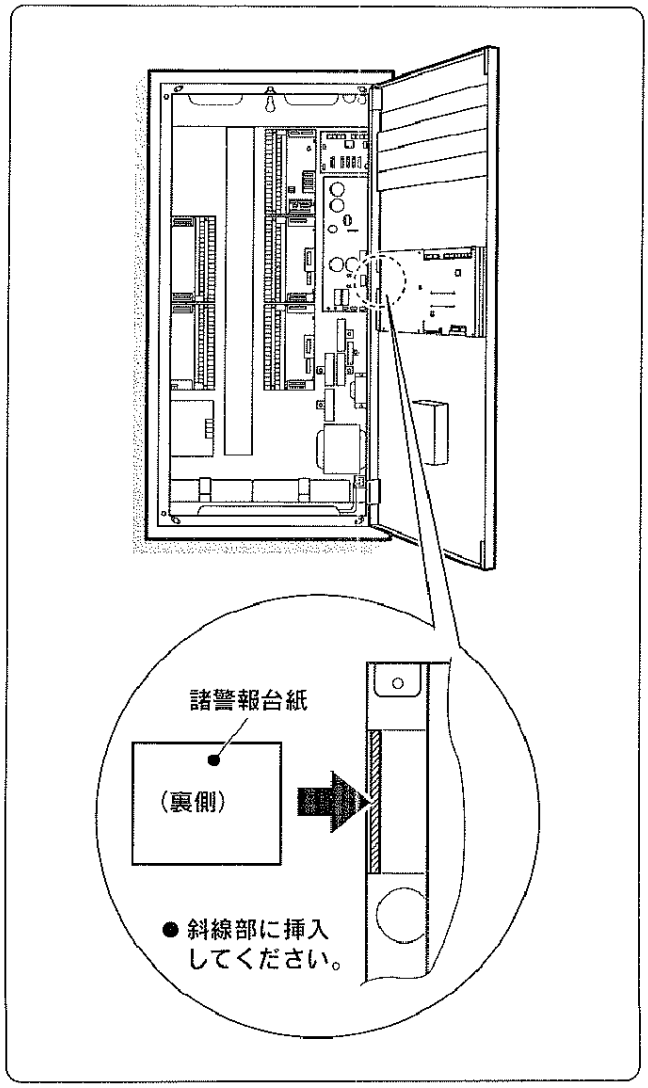


1 扉をあける。

●扉止めネジをゆるめる。

2 諸警報台紙に付属の諸警報地区ラベルを貼り付ける。

諸警報地区ラベルに希望の名称がない場合、無地のラベルの枠内に収まるように記入してください。



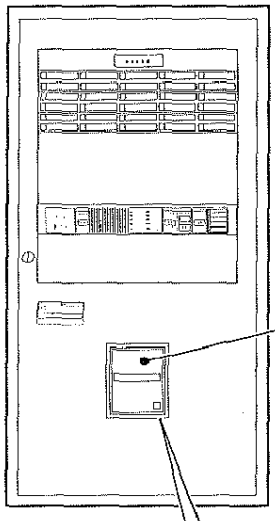
3 諸警報台紙を受信機内に挿入する。

4 扉をしめる。

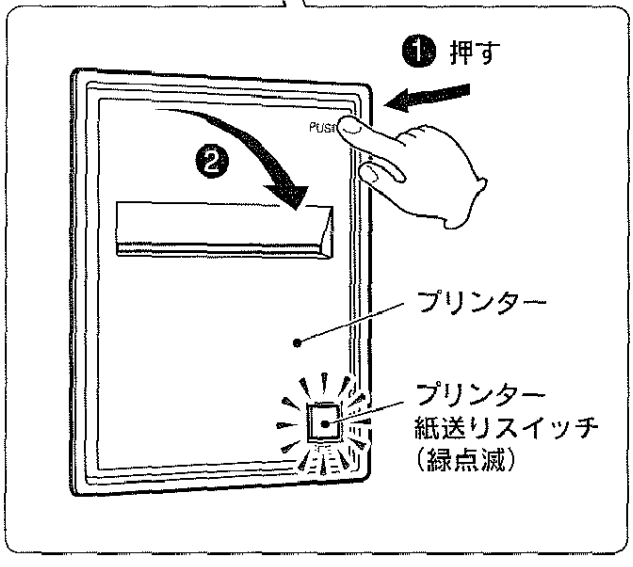
●扉止めネジをしめる。

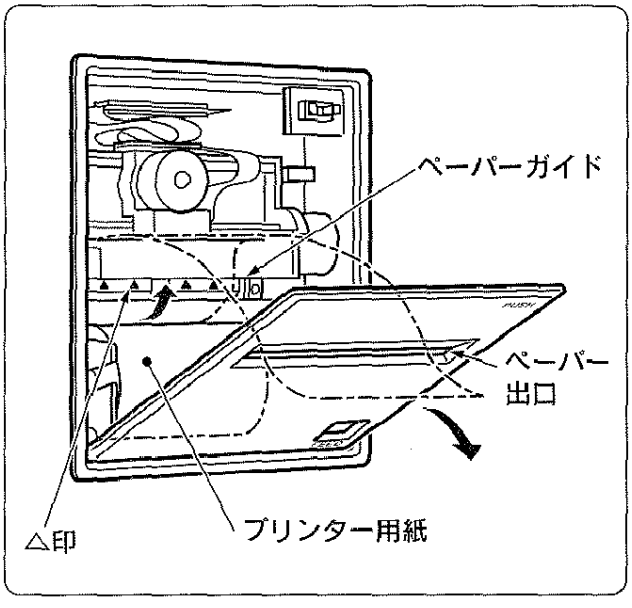
4.部品などの交換方法

プリンター用紙の交換方法



● FR5 受信機用プリンター用紙（BVR1002557）（別売）については当社へお問い合わせください。





1 プリンター紙送りスイッチ内のランプが緑点滅している。

2 プリンターの右上部を押し、扉をあける。

3 プリンター用紙をペーパーガイドの△印に沿って挿入し、プリンター紙送りスイッチを押すと、プリンター用紙は自動的に送り込まれます。

4 約20cmほどプリンター用紙を送り、前面の扉のペーパー出口を通して先端を引き出す。

5 プリンターの右上部を押し、扉をしめる。

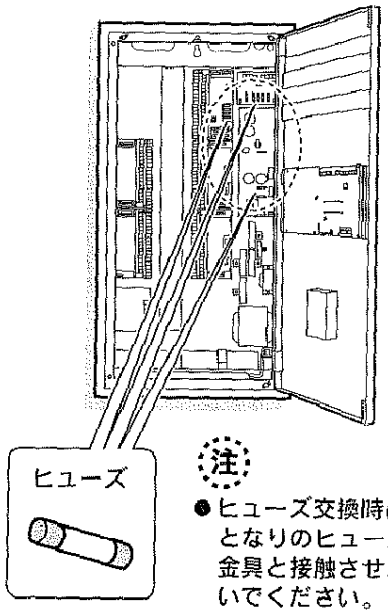
ヒューズの交換

⚠警告

禁止

●ヒューズ交換は電源（AC 100 V）を切った状態で行ってください。
感電のおそれがあります。

●ヒューズは必ず指定のものをご使用ください。
それ以外のものを使用した場合、発火・故障の原因になります。



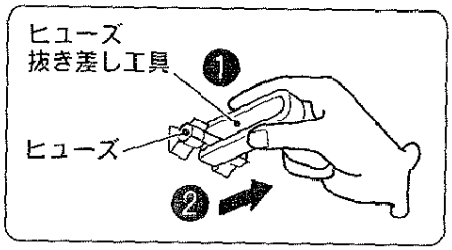
注

●ヒューズ交換時は、となりのヒューズ金具と接触させないでください。

取りはずす場合

❶ ヒューズにヒューズ抜き差し工具を挿入する。

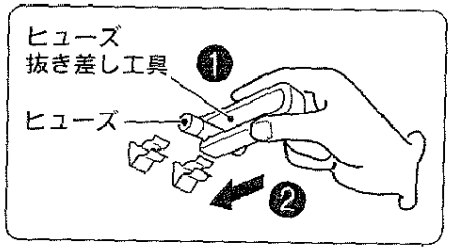
❷ ヒューズ抜き差し工具をつまみ引っ張る。



取り付ける場合

❶ ヒューズ抜き差し工具にヒューズを挿入する。

❷ ヒューズ抜き差し工具をつまみ、ヒューズ金具に挿入する。



●ヒューズ抜き差し工具は、予備品 保管用 の箱に入っています。

感知器・表示灯について

■感知器について

⚠警告

必ず行う

●感知器を取り付けるときは、確実に止まるまで時計方向にまわしてください。
正しく取り付けないと通電不良や落下のおそれがあります。

禁止

●誤って落下や衝撃を加えたり、変形したような感知器は使用しないでください。正常に機能しない場合があります。

分解禁止

●感知器は分解したり、衝撃を与えたりしないでください。
正常に火災感知をしなくなるおそれがあります。

■表示灯について

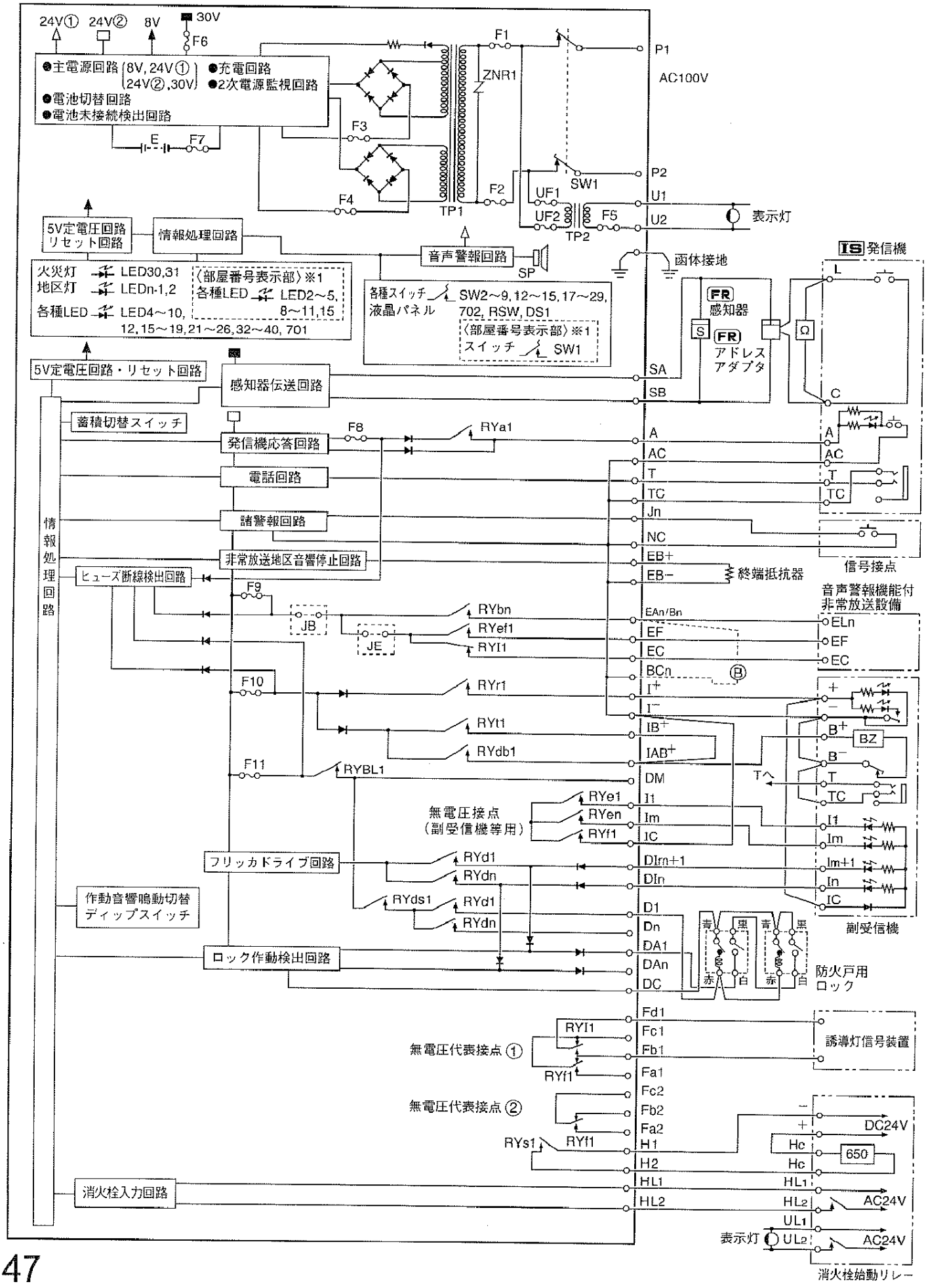
⚠警告

禁止

●表示灯の表示ランプは、指定の定格品以外は使用しないでください。
発火・故障の原因となります。

5.内部回路図

●スイッチおよびリレーの接点方向は平常時の状態を示します。



ご注意

- ●蓄積型感知器・蓄積式中継器の接続はできません。
- ● IS 感知器・ IS アドレスアダプタは接続できません。
- ●一般2信号感知器は接続できません。
- ●中継リレー1型・2型は接続できません。
- ●必ず受信機の地区ベル接続容量以内で使用してください。

■適用品番

●BVR210□□KH(□□は回線数) ただし、左記品番のものは、回路図中および下表中の ※1 を削除する。

●BVR210□□2KH(□□は回線数)

記号	名　称
SW1	交流電源スイッチ
F1,F2	電源一次側ヒューズ
UF1,UF2	表示灯一次側ヒューズ
F3	第一系統電源二次側ヒューズ
F4	第二系統電源二次側ヒューズ
F5	表示灯二次側ヒューズ
F6	30V過電圧保護ヒューズ
F7	電池ヒューズ
F8	発信機応答ヒューズ
F9	地区音響ヒューズ
F10	副受信機ヒューズ
F11	防排煙制御ヒューズ
SP	スピーカー

記号	名　称
LEDn-1,2	地区灯
LED4	ポーリング灯
LED5～10 LED12,15～19	各種スイッチ灯
LED21～25	諸警報地区灯
LED26	交流電源灯
LED30,31	火災灯
LED32	警戒中灯
LED33	発信機灯
LED34	電話灯
LED35	現場確認灯
LED36	消火栓灯
LED37	トラブル灯
LED38	スイッチ注意灯
LED39	地区音響強制停止灯
LED40	防排煙連動停止灯
LED701	非常放送中灯

記号	名　称
RY1,2	電源切替リレー
RY3	電池試験リレー
RYa1	発信機応答リレー
RYbn	地区リレー
RYef1	非常放送火災確認リレー
RYen	回線別移信リレー
RYI1	移信停止リレー
RYf1	火災代表移信リレー
RYr1	火災復旧リレー
RYs1	消火栓連動リレー
RYt1	感知器発報音響(副受信機用)リレー
RYBL1	防排煙連動停止リレー
RYds1	制御電源供給用リレー
RYdn	防排煙制御地区リレー
RYdb1	ロック作動音響(副受信機用)リレー

記号	名　称
E	電　池
ZNR1	サージアブソーバ

〈部屋番号表示部〉※1

記号	名　称
LED 2～5 8～11	部屋番号表示灯 (7セグメントLED)
LED15	部屋番号表示過剰灯
SW1	部屋番号表示送りスイッチ

記号	名　称
SW2	火災断定スイッチ
SW3	受信機音響停止スイッチ
SW4	地区音響一時停止スイッチ
SW5	地区音響一時停止解除スイッチ
SW6	復旧スイッチ
SW7	火災試験スイッチ
SW8	防排煙個別起動スイッチ
SW9	おくりスイッチ
SW12	印字停止スイッチ
SW13	点検時音響停止スイッチ
SW14	蓄積解除スイッチ
SW15	試験復旧スイッチ
SW17	地区音響一斉鳴動スイッチ
SW18	防排煙連動停止スイッチ
SW19	移信停止スイッチ
SW20	消火栓連動停止スイッチ
SW21	一斉試験スイッチ
SW22	予備電源試験スイッチ
SW23	自動試験クリアスイッチ
SW24	トラブル確認スイッチ
SW25	時刻設定スイッチ
SW26	ユニット登録スイッチ
SW27	トラブル一括印字スイッチ
SW28	自動試験印字スイッチ
SW29	テーブル設定スイッチ
SW702	地区音響強制停止スイッチ
RSW	選択スイッチ
DS1	タイマー設定スイッチ

6.定格・仕様

国家検定型式番号	受第10～40号				
常用電源	AC100V 50/60Hz (P1-P2)	回線数	30	40	50
		消費電力：警戒時最大	90VA		
		消費電力：警報時最大	240VA		
予備電源	DC 24V 3500mAh ニッケルカドミウム蓄電池(充電方式：トリクル充電　充電電流70mA) (BV 98104)(鑑定合格品)				
地区音響装置	DC 24V 800mA(BCn－B1…B15) ※1 非常放送時、地区音響停止機能(EB+-EB－) ※2				
※3 非常放送連動	無電圧接点(EC-EA…EA15, EF)　接点容量DC 30V 1Aまで				
表示灯	AC 24V 840mA(U1-U2)				
副受信機電源	DC 24V 500mA(I+-I－)				
伝送方式	ポーリング／セレクティング方式				
アドレス数	255アドレス				
感知器伝送線	外部配線抵抗　往復20Ω以下(SA-SB)				
※4 アドレス端末接続個数	❶ FR 感知器…… 255コまで				
	❷ FR 発信機…… 255コまで				
	❸ FR アドレスアダプタ…… 100コまで				
	❹ FR アイソレータ…… 20コまで				
	❺ FR 光電式分離型…… 30コまで				
※5 一般感知器接続個数 〔FR アドレスアダプタ2次側〕	1回路用	当社煙感知器(A)　：1回線当たり20コまで 当社炎感知器(B)　：1回線当たり20コまで 当社光電式分離型感知器(C)：1回線当たり1コまで 当社熱サイバーセンサ(D)　：1回線当たり30コまで ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 3(A+B)+60C+2D≦60			
	4回路用	当社煙感知器(A)　：1回線当たり20コまで 当社炎感知器(B)　：1回線当たり20コまで 当社光電式分離型感知器(C)：1回線当たり1コまで 当社熱サイバーセンサ(D)　：1回線当たり80コまで ●上記感知器が混在する場合は、下記の方程式により接続数を決めてください。 4(A+B)+80C+D≦80			
部屋番号表示部	2表示(7セグメント4桁表示) ※BVR210□□2KH(□□は回線数)のみ表示				
主音響装置	音声合成音　164mA・85dB/m以上				
副受信機	無電圧接点(IC-I1…In)接点容量DC 30V 1Aまで				
ロック接続容量	DC 24V 1回線当たり最大容量2Aまで、全回線同時作動最大容量2Aまで(DC-Dm+1…Dn)				
消火栓始動	無電圧接点(H1-H2)接点容量DC 30V 1Aまで　始動確認灯24V 5mA(HL1-HL2)				
移信接点	無電圧接点2系列(Fc1(Fd1)-Fa1・Fb1)(Fc2-Fa2・Fb2)接点容量DC 30V 1Aまで				
蓄積時間	公称蓄積時間60秒(一般煙感知器……60秒　一般熱感知器……10秒) (FR 煙感知器……50秒　FR 熱感知器……10秒)				

諸警報音響装置	スピーカー　149mA・70dB/m以上
諸警報電圧・電流	DC 24V　短絡電流 5mA　外部配線抵抗 往復50Ω以下（NC-J1…J5）
内蔵プリンター	16×16ドット　サーマルドット方式　20桁　JIS第1水準漢字
使用周囲温度	0℃～+40℃
質　　量	38kg
主要部品材質 扉・函・枠	鋼板（扉・枠・函 t＝1.2）5分ツヤ有　メラミン焼付塗装

※1. 地区音響配線の終端には、専用の終端器（BVS9903）を接続してください。

※2. 非常放送側の接続端子に終端抵抗器10kΩを接続してください。

※3. 地区音響装置接続時は、EAn端子のかわりにIn 端子を使用してください。
EC-EF接点が閉じるのは、発信機発報および第2報めの感知器発報の場合です。
一斉鳴動移行時間（TC）による動作では、EC－EF接点は閉じません。

※4. ● ❶ ❷ ❸ ❹ ❺ が混在して接続されているときは下記の2つの式を満足してください。

❶ ＋ ❷ ＋ ❸ ＋ ❹ ＋ ❺ ≦ 255　　（アドレス数による制限）

❶ ＋ ❷ ＋ 3×❸ ＋ 5×❹ ＋ 5×❺ ≦ 300（電流容量による制限）

※5. ●システムトータルでの接続個数は次の式を満足してください。

B+C+D≦500（電流容量による制限）

連絡先一覧表　施工店や点検契約店など、記入されておくと便利です。

点検契約店	TEL
施　工　店	TEL
設備竣工	年　　月　　日

〔〒571−8686〕大阪府門真市門真1048　松下電工株式会社　TEL (06) 6908−1131 (大代表)

8A2 J49 00001

1204-1 Ⓚ Ⓐ